

鳥取市 健康とくらしの調査実施業務委託

健康とくらしの調査 報告書

令和5年3月

鳥取市

一般社団法人 日本老年学的評価研究機構

目次

1. はじめに	1
2. 本報告書を読む際の注意	1
3. 調査実施の概要	2
4. 集計数・集計項目・回答の修正方法について	2
5. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワーク	8
6. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワークの小地域間比較	28
7. 保険者独自項目の調査結果	38
(資料) 基礎集計表	59

1. はじめに

本邦は、2040年に向けて生産年齢人口が急減する一方で、85歳以上人口が急速に増加していくことが見込まれ、高齢者の急増だけではなく、現役世代の急減という局面に変化していくことが予想されている。厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指すことを指針として提示している。生産年齢人口が減少し介護人材が不足していくなかで、住民がより長く元気に地域で暮らしていけるよう介護予防や健康づくりを進めていくことが求められる。そのためにも、様々な生活上の困難を支え合う地域共生社会の実現にむけて、地域の実情に応じて仕組みや取り組みをデザインする「地域デザイン」機能を強化（保険者機能の強化）に取り組んでいく必要がある。地域デザイン機能の強化から、健康寿命の延伸、介護予防・地域づくりの取組みに展開していくことが期待される。

本報告書は、日本老年学的評価研究（JAGES）の研究知見に基づき、特に介護予防や地域づくりにフォーカスをして、本調査結果としてまとめたものである。

2. 本報告書を読む際の注意

- (1) 調査結果の数値は原則として回答率（%）を表記し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。このため、単数回答の合計が100.0%とならない場合がある。また、一人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問（複数回答）では、回答率が通常100.0%を上回る。
- (2) 調査結果の分析記述においては、誤差を考慮し、回答者数が30人未満の場合は、分析の対象からは除いている。また、本報告書全体について、分析記述の基本的考え方は、6頁の「4.（4）分析記述の基本的考え方」を参照。
- (3) 分析記述やグラフ・数表上で次の略称を使用している。
 - n：回答者の数
 - －：回答者がいないもの
 - 0.0：表章単位に満たないが、回答者がいるもの
- (4) 「7. 保険者独自項目の調査結果」及び「(資料) 基礎集計表」においては、スペースの都合上、調査票の質問文や選択肢を一部短縮している部分がある。

3. 調査実施の概要

調査対象者：令和4年9月30日時点¹で65歳以上である高齢者

対象者数：10,800人

調査方法：郵送法

調査期間：令和4年11月14日～令和4年12月5日²

回収結果（回収率）：7,363票（68.2%）

4. 集計数・集計項目・回答の修正方法について

（1）集計数及び集計についての注意

投函締切の1ヶ月後までに自治体に返送された調査票のうち、調査票IDを切り取って返送された調査票は集計対象外とし、それ以外を有効票とした。属性クロス分析に使う対象者の年齢と性別は調査対象者データを用いて集計を行った。なお、保険者の中には要介護者と要支援者、事業対象者も調査対象者に含めている保険者がある³。本来ならば同一条件で集計するところであるが、本報告書ではこれらの対象者の回答も合わせて集計している。そのため調査結果の分析の「第2期参加自治体」全体での割合との比較を読む際は留意する必要がある。回収数と集計数の結果は以下のとおりである。

市町村	回収数	集計数
鳥取市	7,363	7,264

¹ この基準日は鳥取市が調査対象者の抽出を行った日であり、基準日は自治体によってそれぞれ異なる。

² 本調査は66介護保険者75市町村が参加し、11月7日～12月26日の調査期間を3分割して実施された。11月14日～12月5日に調査を実施した保険者は、八戸市、十和田市、六戸町、東北町、五戸町、南部町（青森県）、葛尾村（福島県）、さいたま市（埼玉県）、市川市、市原市（千葉県）、小松市、羽咋市（石川県）、あわら市、高浜町（福井県）、下呂市、安八郡広域連合（岐阜県）、森町（静岡県）、常滑市（愛知県）、知多北部広域連合、武豊町（愛知県）、多可町（兵庫県）、葛城市（奈良県）、鳥取市（鳥取県）の23保険者である。この23保険者を「第2期参加自治体」と表記する。

³ 「第2期参加自治体」の調査対象者の詳細は7頁の「4.（5）各保険者の調査対象者」を参照。

(2) 各集計項目（20項目）の定義

各集計項目の定義は以下のとおりである。

各集計項目分析は、「第2期参加自治体」全体での割合との比較を中心に行った。

「要介護リスク」

要介護リスク	設問番号	定義
①フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）	問4-1で「できない」 問4-2で「できない」 問4-5で「できない」 問4-10で「いいえ」／問4-11で「いいえ」 問3-6で「できない」 問3-7で「できない」 問4-14で「できない」 問3-4で「何度もある」「1度ある」 問3-5で「とても不安である」「やや不安である」 問10-5で「はい」／問10-4より、BMI=18.5未満 問2-1で「はい」／問2-2で「はい」 問2-3で「はい」 問3-1で「月1～3回」「年に数回」「していない」 問3-2で「とても減っている」「減っている」 問4-15で「はい」／問4-16で「いいえ」 問4-17で「はい」／問9-16で「はい」 問9-17で「はい」／問9-18で「はい」 問9-19で「はい」／問9-20「はい」	25項目中8項目以上該当
②運動機能低下者割合	問3-6で「できない」／問3-7で「できない」 問4-14で「できない」 問3-4で「何度もある」「1度ある」 問3-5で「とても不安である」「やや不安である」	5項目中3項目以上該当
③1年間の転倒あり割合	問3-4で「何度もある」「1度ある」	1項目中1項目該当
④物忘れが多い者の割合	問4-18で「はい」	1項目中1項目該当
⑤閉じこもり者割合	問3-1で「月1～3回」「年に数回」「していない」	1項目中1項目該当
⑥うつ割合	問9-16で「はい」／問9-17で「はい」 問9-18で「はい」／問9-19で「はい」 問9-20で「はい」	5項目中2項目以上
⑦口腔機能低下者割合	問2-1で「はい」／問2-2で「はい」 問2-3で「はい」	3項目中2項目以上該当
⑧低栄養の傾向	問10-4より、BMI=18.5未満	1項目中1項目該当

<p>⑨要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）</p>	<p>調査対象者データで「男性」が1点、 調査対象者データで「65-66歳」が0点、「67-68歳」が1点、「69歳」が3点、「70歳」が4点、「71歳」が6点、「72歳」が7点、「73歳」が9点、「74歳」が10点、「75-76歳」が12点、「77歳」が13点、「78歳」が14点、「79歳」が15点、「80歳」が17点、「81歳」が18点、「82-83歳」が19点、「84-85歳」が21点、「86-87歳」が22点、「88-89歳」が23点、90歳以上が24点 問4-1で「できない」が2点 問4-2で「できない」が3点 問4-5で「できない」が2点 問3-6で「できるけど、していない」「できない」が3点 問3-7で「できるけど、していない」「できない」が2点 問4-14で「できるけど、していない」「できない」が1点 問3-4で「何度もある」「1度ある」が2点 問3-5で「とても不安である」「やや不安である」が2点 問10-4より、BMI=18.5未満が3点 問3-2で「とても減っている」「減っている」が3点</p>	<p>平均値</p>
<p>⑩認知機能低下者割合（基本チェックリスト）</p>	<p>問4-15で「はい」／問4-16で「いいえ」 問4-17で「はい」</p>	<p>3項目中1項目以上該当</p>
<p>⑪IADL（自立度）低下者（1項目以上）割合</p>	<p>問4-1で「できない」／問4-2で「できない」 問4-3で「できない」／問4-4で「できない」 問4-5で「できない」</p>	<p>5項目中1項目以上該当</p>
<p>⑫幸福感がある者（8/10点以上）の割合</p>	<p>問10-6で「8」「9」「10」</p>	<p>8以上</p>

「就労」

就労	設問番号	定義
<p>⑬就労していない者の割合</p>	<p>問13-1で「職に就いたことがない」または「引退した」に該当、または「求職中」だが「常勤」「非常勤」「自営業」ではない</p>	<p>1項目中1項目該当</p>

「社会参加」

社会参加	設問番号	定義
<p>⑭ボランティア参加者（月1回以上）割合</p>	<p>問5-1-1で「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」</p>	<p>1項目中1項目該当</p>

⑮スポーツの会参加者(月1回以上)割合	問 5-1-2 で「週 4 回以上」「週 2~3 回」「週 1 回」「月 1~3 回」	1 項目中 1 項目該当
⑯趣味の会参加者(月1回以上)割合	問 5-1-3 で「週 4 回以上」「週 2~3 回」「週 1 回」「月 1~3 回」	1 項目中 1 項目該当
⑰学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	問 5-1-6 で「週 4 回以上」「週 2~3 回」「週 1 回」「月 1~3 回」	1 項目中 1 項目該当
⑱通いの場参加者(月1回以上)割合	問 5-1-7 で「週 4 回以上」「週 2~3 回」「週 1 回」「月 1~3 回」	1 項目中 1 項目該当
⑲特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	問 5-1-8 で「週 4 回以上」「週 2~3 回」「週 1 回」「月 1~3 回」	1 項目中 1 項目該当

「社会的ネットワーク」

社会的ネットワーク	設問番号	定義
⑳友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合	問 6-1 で「週 4 回以上」「週 2~3 回」「週 1 回」「月 1~3 回」	1 項目中 1 項目該当

(3) 回答内容の修正について

集計では出来る限り対象者の回答を有効となるよう集計した。但し、集計を行うにあたり、修正等が必要な場合は修正処理を行った。主な修正内容は以下のとおりである。

設問番号・設問内容	修正処理内容
問 10-4 身長	1メートル未満や2メートル以上の回答は異常値と判断し、集計から除外した。
問 10-4 体重	○20kg 未満や 120kg 以上の回答は異常値と判断し、集計から除外した。 ○「45.5kg」など、小数点以下まで記入をされたものは、小数点以下を四捨五入し、整数の体重に修正した。 ※45.5kg→46kg
問 10-7 自治体居住年数	「6カ月以上」の回答の場合は「1年」とした。また、「6か月未満」の回答の場合は「0(ゼロ)年」とした。
問 12-2 家族構成	○「1 一人暮らし」と2-5 選択肢の複数回答の場合で、問 13-3)で 2 人以上だった場合や、3)同居家族質問が 2-12 の場合は「1 一人暮らし」を削除した。 ○「1 一人暮らし」で問 13-3)で 2 人以上だった場合や、同居家族で 2-12 に○がついていた場合は回答を削除した。
問 12-3 世帯人数	○「0(ゼロ)人」と回答があった場合には、「1人」とした。 ○「1人」と回答し、かつ、問 13-3)同居人で「2 配偶者(夫・妻)」を選択した場合は、「2人」とした。 ○問 12-3 同居家族質問で「1 いない」を除く選択肢の回答数が世帯人数以下の場合、世帯人数を選択肢の数の回答に「+1」した。

※記入漏れを補正 問 12-3 同居人	問 12-2 家族構成で「2 夫婦二人暮らし(配偶者 65 歳以上)」、「3 夫婦二人暮らし(配偶者 64 歳以下)」と回答し、問 12-3 同居人で「2 配偶者(夫・妻)」が無かった場合は追加した。
※記入漏れを補正 「主設問」が「無回答」で、付問が「回答有り」の場合は、「主設問」にある選択肢の中から1つに判断できる場合は、記入が漏れたとみなして回答コードを補正した。	(例)問 1-3 が「無回答」で問 1-4 に回答があった場合は、問 1-3 を「1 ある」として集計した。

(4) 分析記述の基本的考え方

「第2期参加自治体」全体での割合との比較を中心に分析記述を行っており、その回答差が比較的大きい項目を分析記述の対象としている。記述の目安は下表のとおりである。

	第2期参加自治体平均	記述なし	やや高い/低い	高い/低い	とても高い/低い
①フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	19.0	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
②運動機能低下者割合	10.9	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
③1年間の転倒あり割合	27.4	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
④物忘れが多い者の割合	40.8	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑤閉じこもり者割合	4.4	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑥うつ割合	28.0	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑦口腔機能低下者割合	21.5	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑧低栄養の傾向	7.5	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑨要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	16.1	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑩認知機能低下者割合(基本チェックリスト)	36.1	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑪IADL(自立度)低下者(1項目以上)割合	12.0	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑫幸福感がある者(8/10点以上)の割合	47.8	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑬就労していない者の割合	63.1	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑭ボランティア参加者(月1回以上)割合	11.0	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑮スポーツの会参加者(月1回以上)割合	22.2	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑯趣味の会参加者(月1回以上)割合	23.3	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑰学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	7.0	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑱通いの場参加者(月1回以上)割合	10.4	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑲特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	4.8	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑳友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合	67.8	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上

(5) 各保険者の調査対象者

「第2期参加自治体」の調査対象者は下表のとおりである。

保険者名	要支援者	事業対象者	保険者名	要支援者	事業対象者	保険者名	要支援者	事業対象者
八戸市	含む	含む	市原市	含む	含む	常滑市	含まない	含まない
十和田市	含まない	含む	小松市	含む	含む	知多北部 広域連合	含む	含む
六戸町	含む	含む	羽咋市	含まない	含まない			
東北町	含む	含む	あわら市	含む	含む	武豊町	含まない	含む
五戸町	含む	含む	高浜町	含む※	含む	多可町	含まない	含まない
南部町	含む	含む	下呂市	含む	含む	葛城市	含む	含む
葛尾村	含む	含む	安八郡 広域連合	含む	含む	鳥取市	含む	含む
さいたま市	含む	含む						
市川市	含まない	含まない	森町	含む	含む	※高浜町は要介護1～2を含む。		

5. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワーク

(1) 要介護リスク：フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）』は「70-74歳」でやや高く、「75-79歳」で高く、「80-84歳」、「85歳以上」でとても高くなっている。

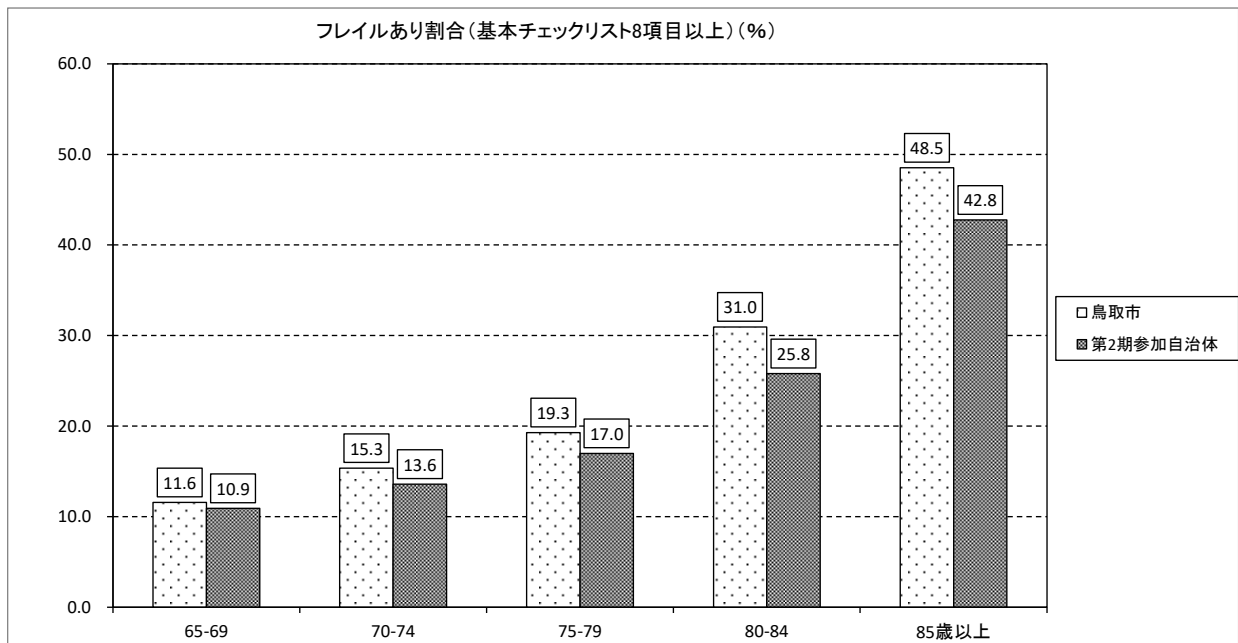


図1 フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）

介護予防ニーズ：フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	1,573	198	336	263	334	442
	%	21.7	11.6	15.3	19.3	31.0	48.5
	サンプル数	7,254	1,711	2,189	1,364	1,079	911
第2期参加自治体	人数	14,018	1,659	2,868	2,880	3,229	3,382
	%	19.0	10.9	13.6	17.0	25.8	42.8
	サンプル数	73,683	15,203	21,093	16,961	12,516	7,910

表1 フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）

(2) 要介護リスク：運動機能低下者割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『運動機能低下者割合』は「65-69歳」、「70-74歳」でやや高く、「75-79歳」で高く、「80-84歳」、「85歳以上」でとても高くなっている。

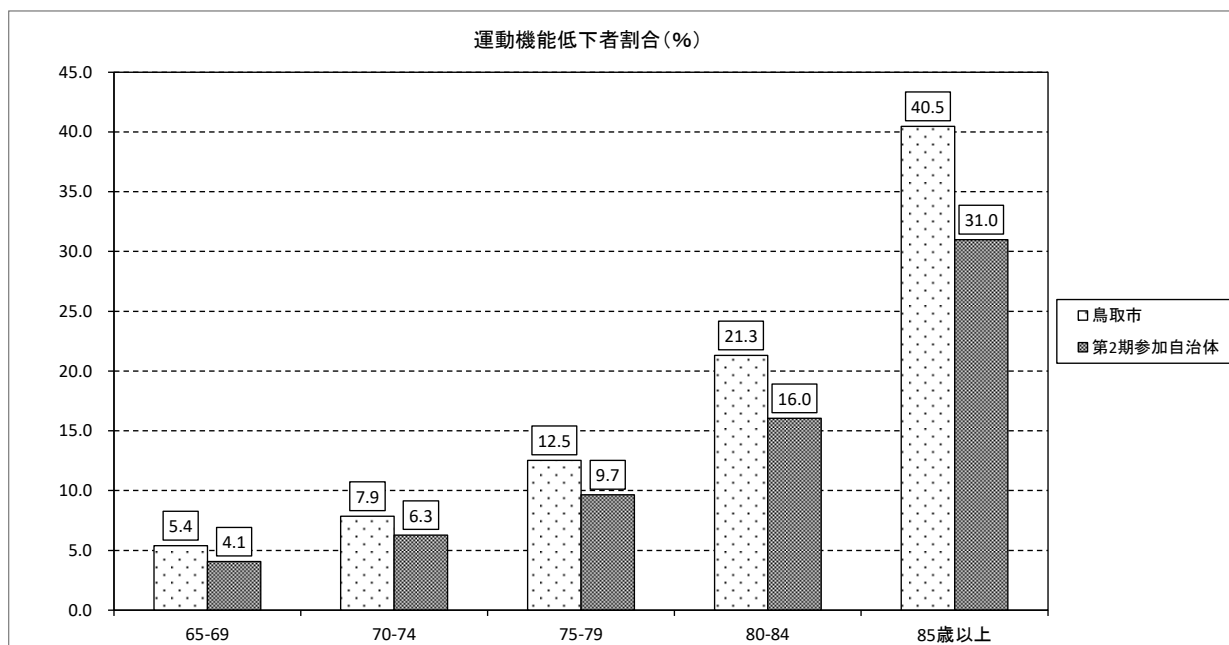


図2 運動機能低下者割合

介護予防ニーズ： 運動機能低下者割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	1,014	91	170	168	226	359
	%	14.2	5.4	7.9	12.5	21.3	40.5
	サンプル数	7,139	1,687	2,163	1,341	1,061	887
第2期参加自治体	人数	7,900	609	1,306	1,613	1,976	2,396
	%	10.9	4.1	6.3	9.7	16.0	31.0
	サンプル数	72,569	15,000	20,817	16,711	12,312	7,729

表2 運動機能低下者割合

(3) 要介護リスク：1年間の転倒あり割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『1年間の転倒あり割合』は「70-74歳」で高く、「80-84歳」、「85歳以上」でとても高くなっている。

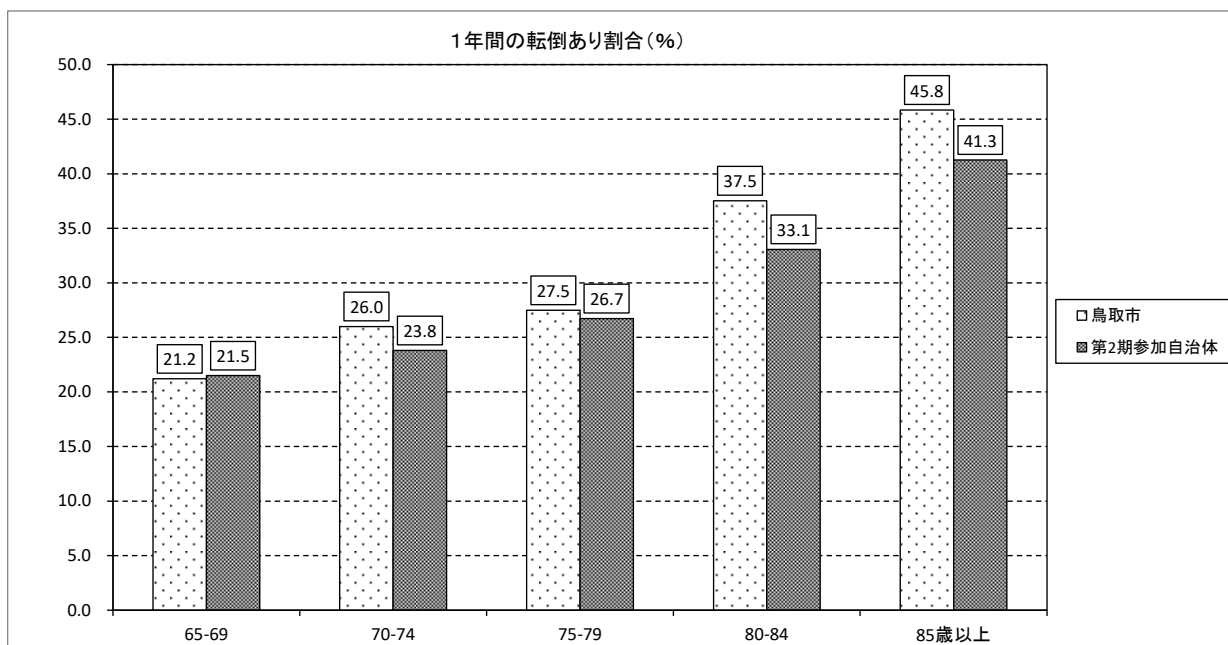


図3 1年間の転倒あり割合

介護予防ニーズ： 1年間の転倒あり割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	2,084	357	561	368	396	402
	%	29.3	21.2	26.0	27.5	37.5	45.8
	サンプル数	7,113	1,684	2,158	1,339	1,055	877
第2期参加自治体	人数	19,833	3,220	4,942	4,455	4,055	3,161
	%	27.4	21.5	23.8	26.7	33.1	41.3
	サンプル数	72,343	14,982	20,766	16,673	12,262	7,660

表3 1年間の転倒あり割合

(4) 要介護リスク：物忘れが多い者の割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「物忘れが多い者の割合」は大きな差はみられない。

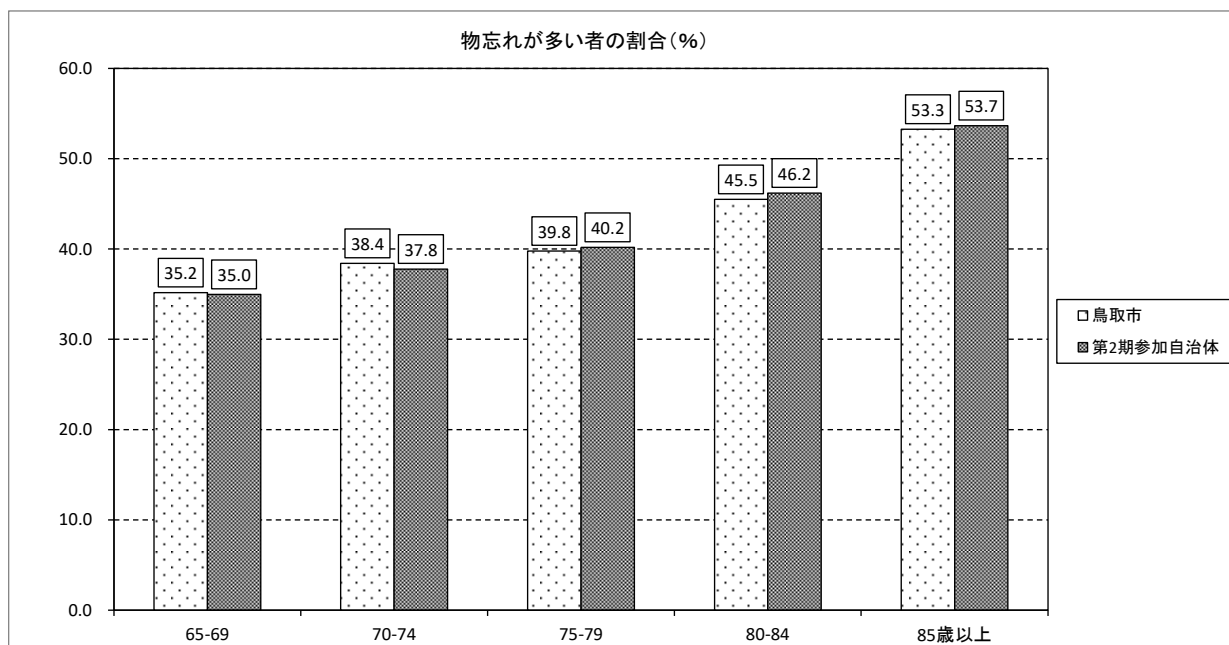


図4 物忘れが多い者の割合

介護予防ニーズ： 物忘れが多い者の割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	2,869	588	822	527	474	458
	%	40.8	35.2	38.4	39.8	45.5	53.3
	サンプル数	7,039	1,672	2,140	1,325	1,042	860
第2期参加自治体	人数	29,336	5,225	7,800	6,636	5,610	4,065
	%	40.8	35.0	37.8	40.2	46.2	53.7
	サンプル数	71,814	14,937	20,645	16,516	12,141	7,575

表4 物忘れが多い者の割合

(5) 要介護リスク：閉じこもり者割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『閉じこもり者割合』は「75-79歳」でやや高く、「80-84歳」で高く、「85歳以上」でとても高くなっている。

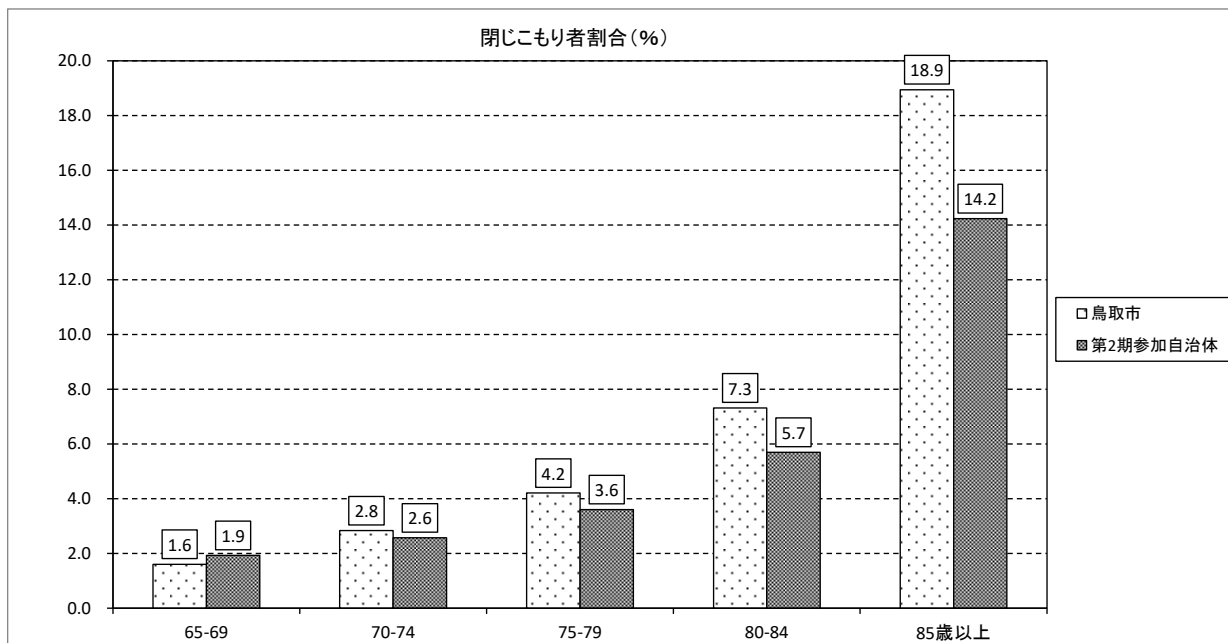


図5 閉じこもり者割合

介護予防ニーズ： 閉じこもり者割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	386	27	61	56	77	165
	%	5.4	1.6	2.8	4.2	7.3	18.9
	サンプル数	7,092	1,682	2,154	1,332	1,053	871
第2期参加自治体	人数	3,209	288	533	600	698	1,090
	%	4.4	1.9	2.6	3.6	5.7	14.2
	サンプル数	72,320	14,971	20,769	16,669	12,251	7,660

表5 閉じこもり者割合

(6) 要介護リスク：うつ割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『うつ割合』は「65-69歳」、「70-74歳」でやや高く、「80-84歳」、「85歳以上」で高く、「75-79歳」でとても高くなっている。

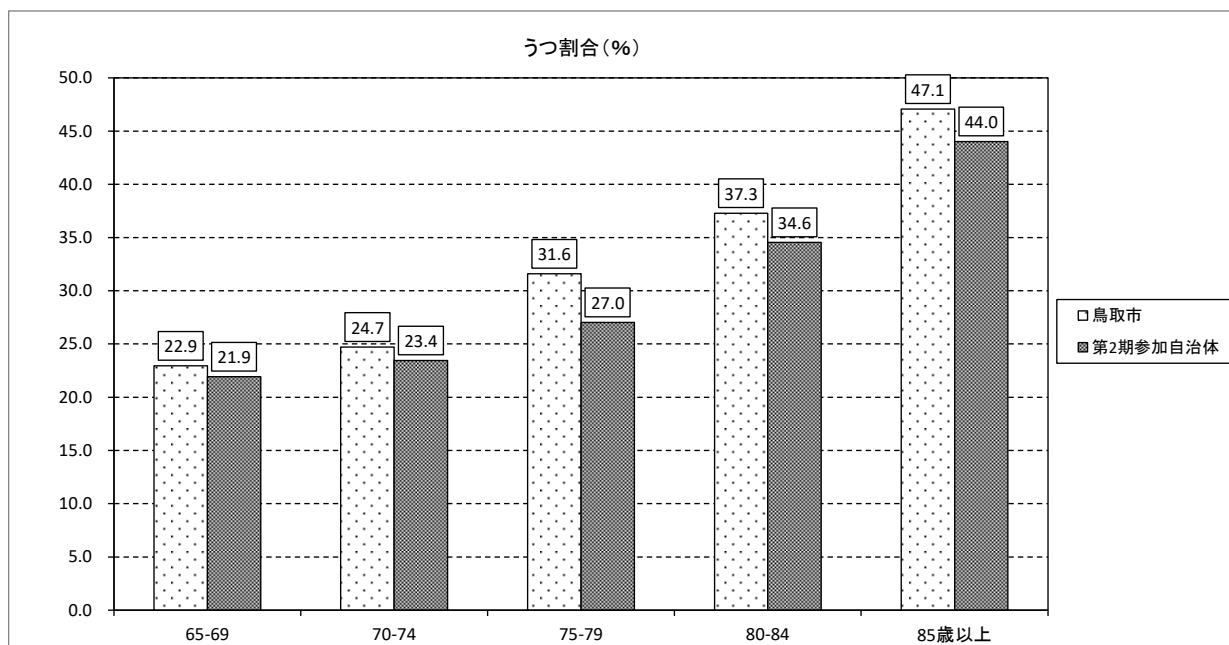


図6 うつ割合

介護予防ニーズ： うつ割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	2,125	386	532	419	387	401
	%	30.1	22.9	24.7	31.6	37.3	47.1
	サンプル数	7,051	1,682	2,153	1,326	1,038	852
第2期参加自治体	人数	20,212	3,294	4,877	4,499	4,204	3,338
	%	28.0	21.9	23.4	27.0	34.6	44.0
	サンプル数	72,213	15,025	20,798	16,642	12,166	7,582

表6 うつ割合

(7) 要介護リスク：口腔機能低下者割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『口腔機能低下者割合』は「75-79歳」でやや高い。「85歳以上」でやや低くなっている。

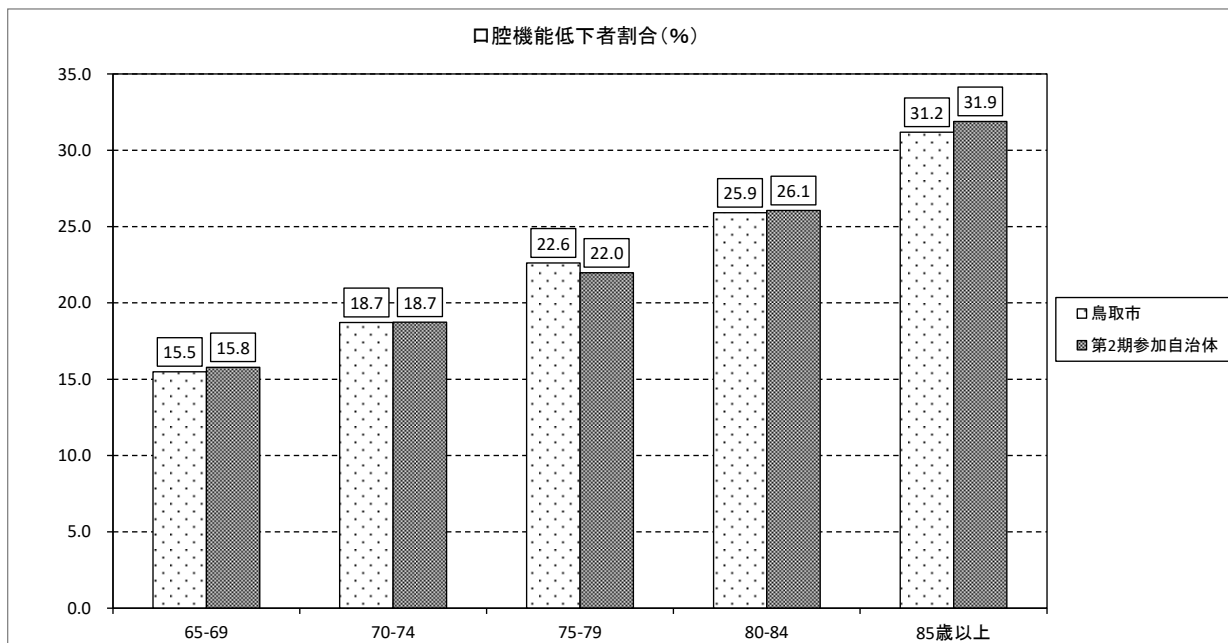


図7 口腔機能低下者割合

介護予防ニーズ： 口腔機能低下者割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	1,510	261	404	301	273	271
	%	21.3	15.5	18.7	22.6	25.9	31.2
	サンプル数	7,098	1,686	2,158	1,331	1,054	869
第2期参加自治体	人数	15,544	2,366	3,893	3,661	3,194	2,430
	%	21.5	15.8	18.7	22.0	26.1	31.9
	サンプル数	72,317	14,995	20,785	16,661	12,258	7,618

表7 口腔機能低下者割合

(8) 要介護リスク：低栄養の傾向割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『低栄養の傾向割合』は「70-74歳」、「75-79歳」でやや高く、「65-69歳」、「80-84歳」で高く、「85歳以上」でとても高くなっている。

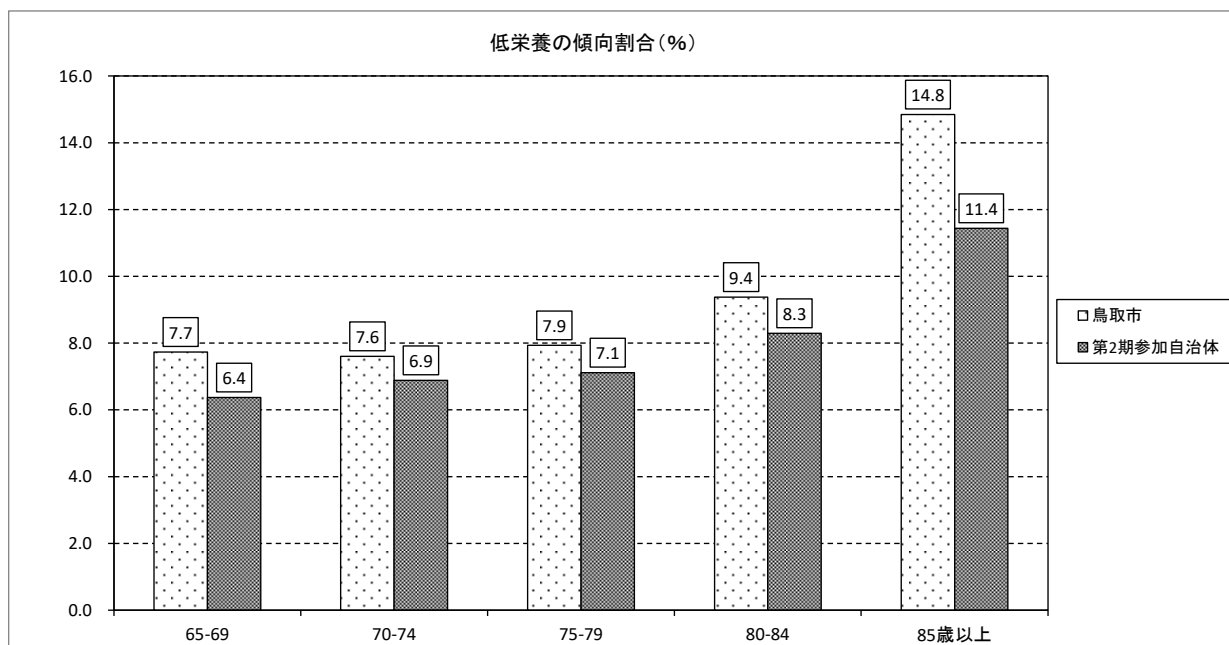


図8 低栄養の傾向割合

介護予防ニーズ： 低栄養の傾向割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	614	129	163	105	96	121
	%	8.8	7.7	7.6	7.9	9.4	14.8
	サンプル数	6,976	1,669	2,144	1,324	1,024	815
第2期参加自治体	人数	5,333	950	1,423	1,172	980	808
	%	7.5	6.4	6.9	7.1	8.3	11.4
	サンプル数	70,938	14,915	20,664	16,475	11,820	7,064

表8 低栄養の傾向割合

(9) 要介護リスク：要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）』は「80-84歳」、「85歳以上」でやや高くなっている。

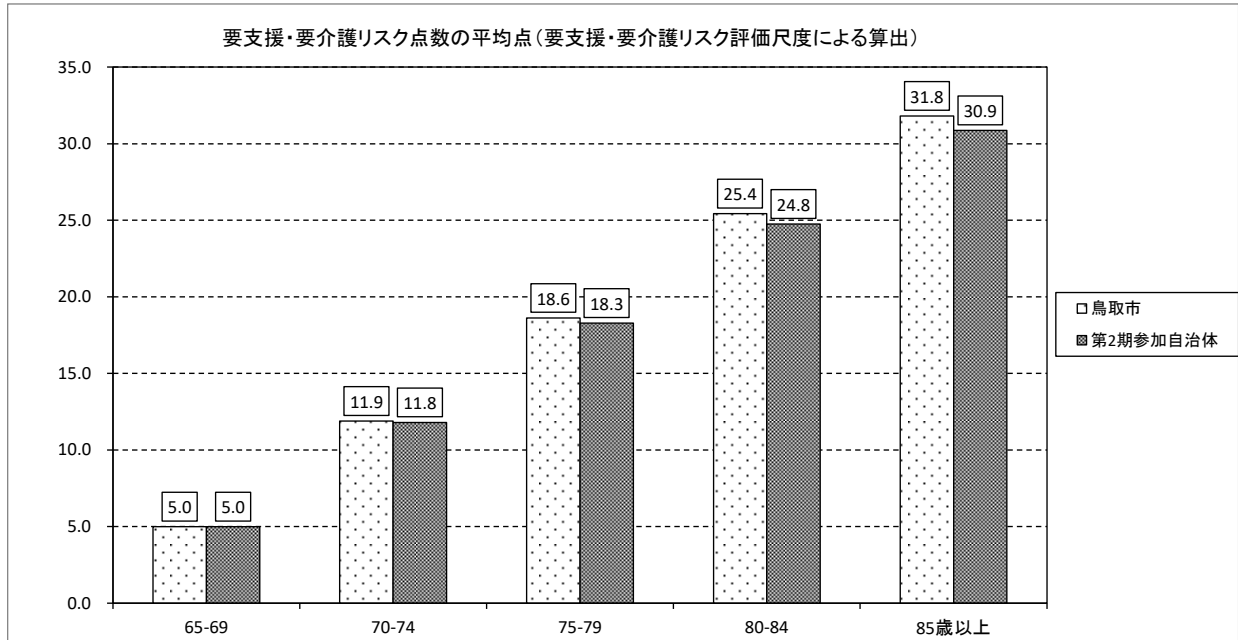


図9 要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）

介護予防ニーズ： 要支援・要介護リスク点数の平均点 （要支援・要介護リスク評価尺度による算出）		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	平均点	16.1	5.0	11.9	18.6	25.4	31.8
	サンプル数	7,264	1,711	2,192	1,365	1,081	915
第2期参加自治体	平均点	16.1	5.0	11.8	18.3	24.8	30.9
	サンプル数	73,779	15,215	21,112	16,978	12,540	7,934

表9 要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）

(10) 要介護リスク：認知機能低下者割合（基本チェックリスト）

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『認知機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「75-79歳」で低くなっている。

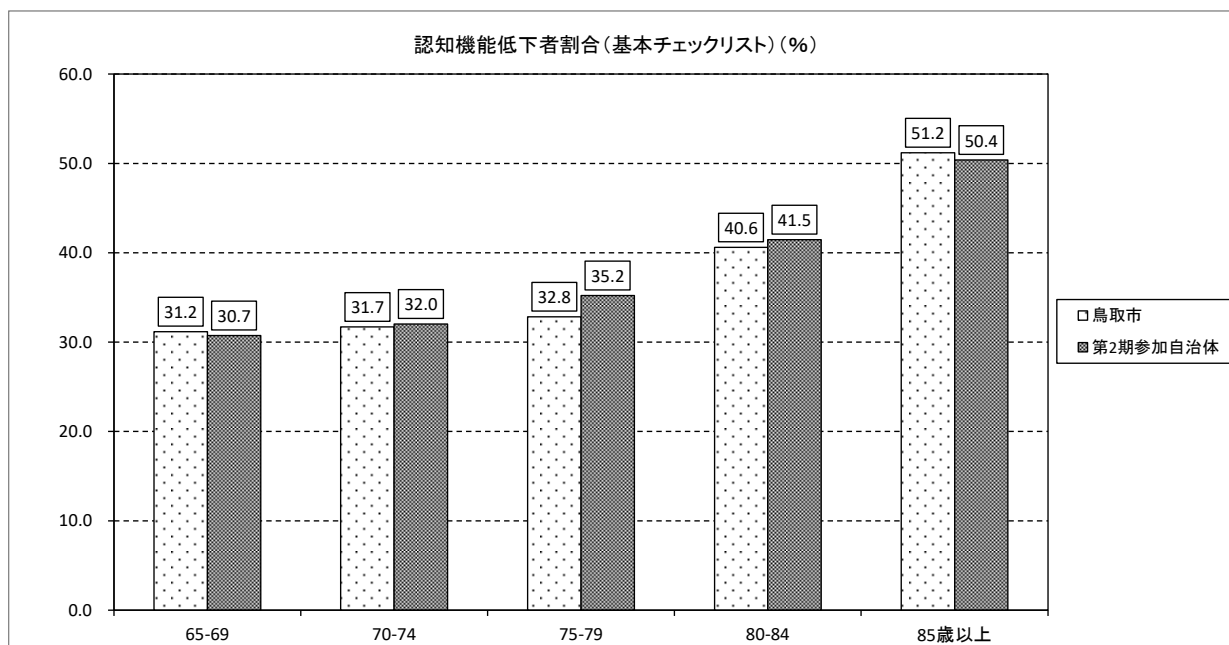


図 10 認知機能低下者割合（基本チェックリスト）

介護予防ニーズ： 認知機能低下者割合（基本チェックリスト）		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	2,538	526	686	441	432	453
	%	35.5	31.2	31.7	32.8	40.6	51.2
	サンプル数	7,144	1,688	2,164	1,343	1,064	885
第2期参加自治体	人数	26,184	4,612	6,672	5,892	5,110	3,898
	%	36.1	30.7	32.0	35.2	41.5	50.4
	サンプル数	72,618	15,001	20,828	16,729	12,322	7,738

表 10 認知機能低下者割合（基本チェックリスト）

(11) 要介護リスク：IADL(自立度)低下者（1項目以上）割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『IADL(自立度)低下者（1項目以上）割合』は「65-69歳」から「80-84歳」でやや高く、「85歳以上」でとても高くなっている。

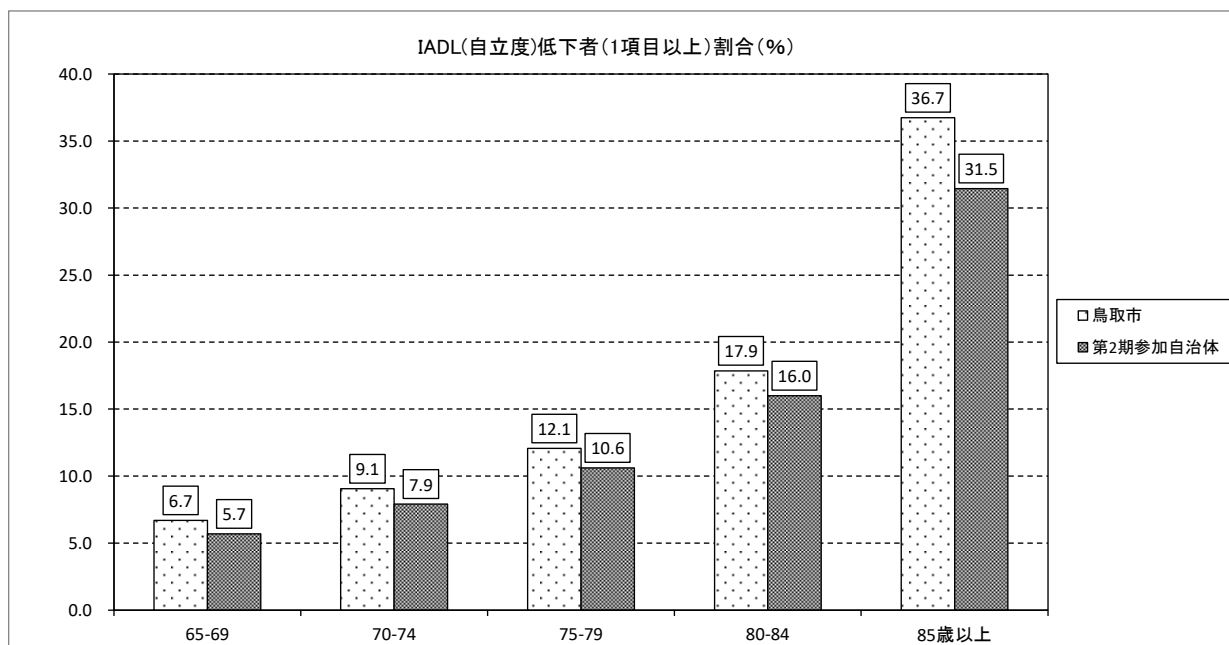


図 11 IADL(自立度)低下者（1項目以上）割合

介護予防ニーズ： IADL(自立度)低下者（1項目以上） 割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	985	113	196	162	190	324
	%	13.8	6.7	9.1	12.1	17.9	36.7
	サンプル数	7,141	1,688	2,164	1,343	1,064	882
第2期参加自治体	人数	8,687	854	1,649	1,776	1,973	2,435
	%	12.0	5.7	7.9	10.6	16.0	31.5
	サンプル数	72,634	15,001	20,834	16,730	12,329	7,740

表 11 IADL(自立度)低下者（1項目以上）割合

(12) 要介護リスク：幸福感がある者（8/10点以上）の割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『幸福感がある者（8/10点以上）の割合』はすべての年齢で低く、特に「65-69歳」から「75-79歳」ではとても低くなっている。

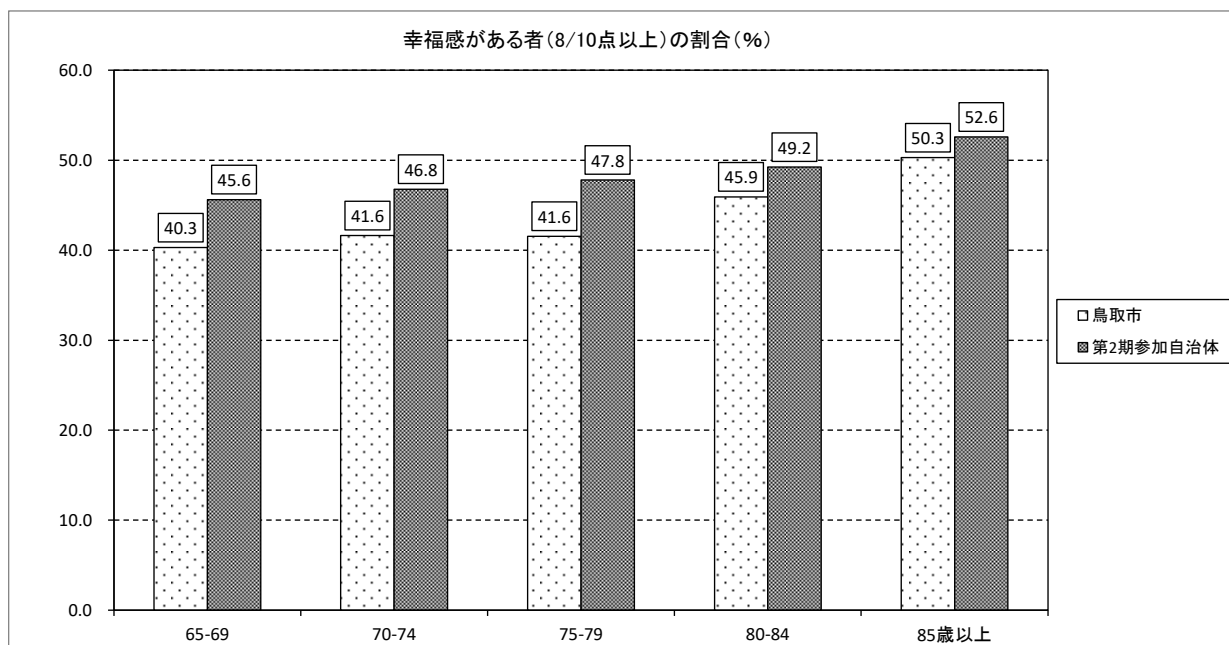


図 12 幸福感がある者（8/10点以上）の割合

介護予防ニーズ： 幸福感がある者（8/10点以上）の 割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	3,004	672	890	547	464	431
	%	43.0	40.3	41.6	41.6	45.9	50.3
	サンプル数	6,989	1,668	2,138	1,316	1,010	857
第2期参加自治体	人数	34,124	6,810	9,631	7,866	5,898	3,919
	%	47.8	45.6	46.8	47.8	49.2	52.6
	サンプル数	71,390	14,924	20,583	16,454	11,978	7,451

表 12 幸福感がある者（8/10点以上）の割合

(13) 就労：就労していない者の割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『就労していない者の割合』は「80-84歳」でやや低くなっている。

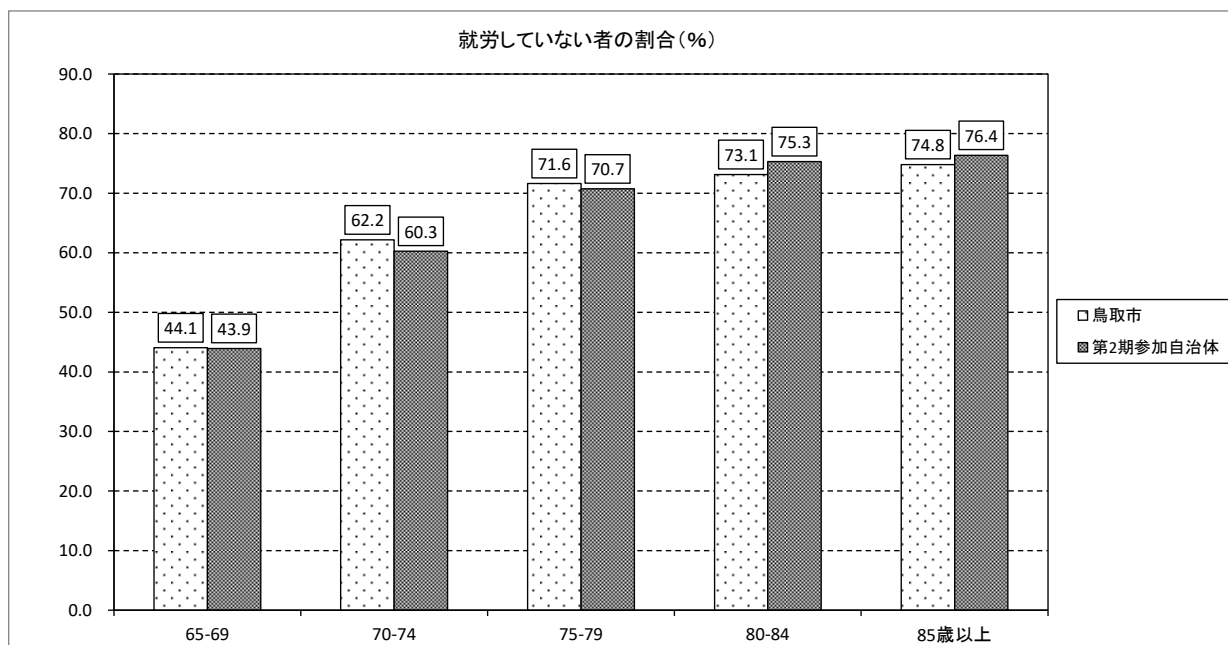


図 13 就労していない者の割合

介護予防ニーズ： 就労していない者の割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	4,084	716	1,267	879	670	552
	%	62.4	44.1	62.2	71.6	73.1	74.8
	サンプル数	6,544	1,625	2,038	1,227	916	738
第2期参加自治体	人数	42,056	6,378	11,774	10,753	8,133	5,018
	%	63.1	43.9	60.3	70.7	75.3	76.4
	サンプル数	66,629	14,515	19,540	15,203	10,799	6,572

表 13 就労していない者の割合

(14) 社会参加：ボランティア参加者(月1回以上)割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『ボランティア参加者(月1回以上)割合』は「70-74歳」でやや高く、「65-69歳」で高くなっている。

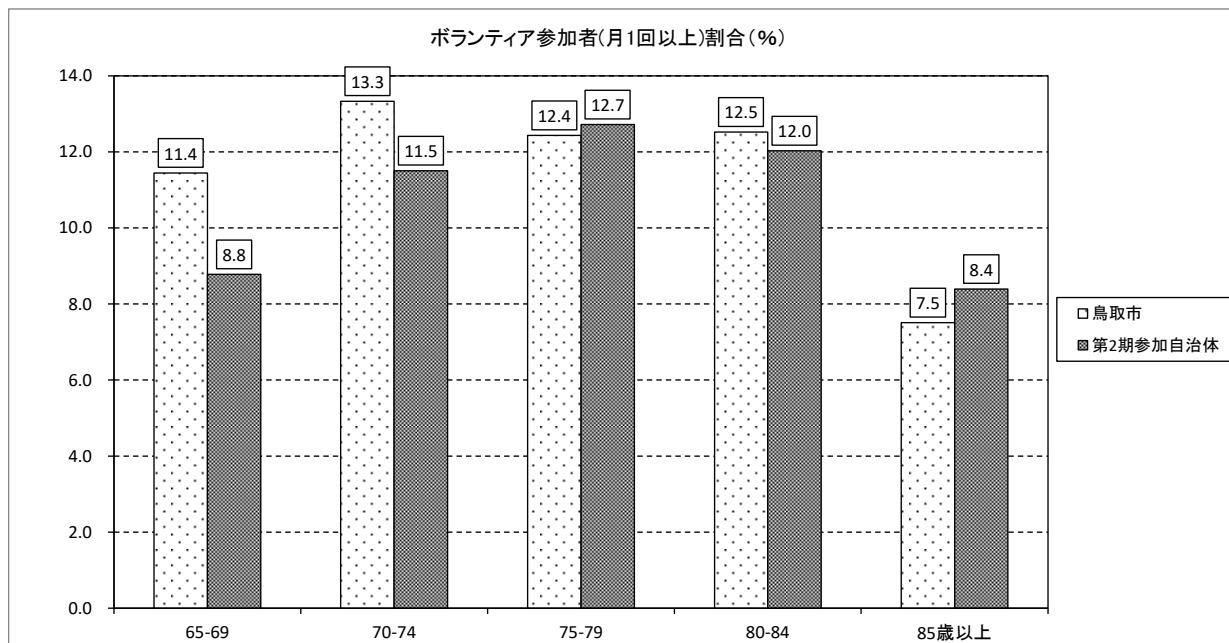


図 14 ボランティア参加者(月1回以上)割合

介護予防ニーズ： ボランティア参加者(月1回以上)割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	822	190	286	161	126	59
	%	11.9	11.4	13.3	12.4	12.5	7.5
	サンプル数	6,892	1,660	2,145	1,295	1,006	786
第2期参加自治体	人数	7,713	1,306	2,362	2,058	1,398	589
	%	11.0	8.8	11.5	12.7	12.0	8.4
	サンプル数	70,224	14,877	20,527	16,182	11,620	7,018

表 14 ボランティア参加者(月1回以上)割合

(15) 社会参加：スポーツの会参加者(月1回以上)割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『スポーツの会参加者(月1回以上)割合』は「70-74歳」から「85歳以上」でやや低くなっている。

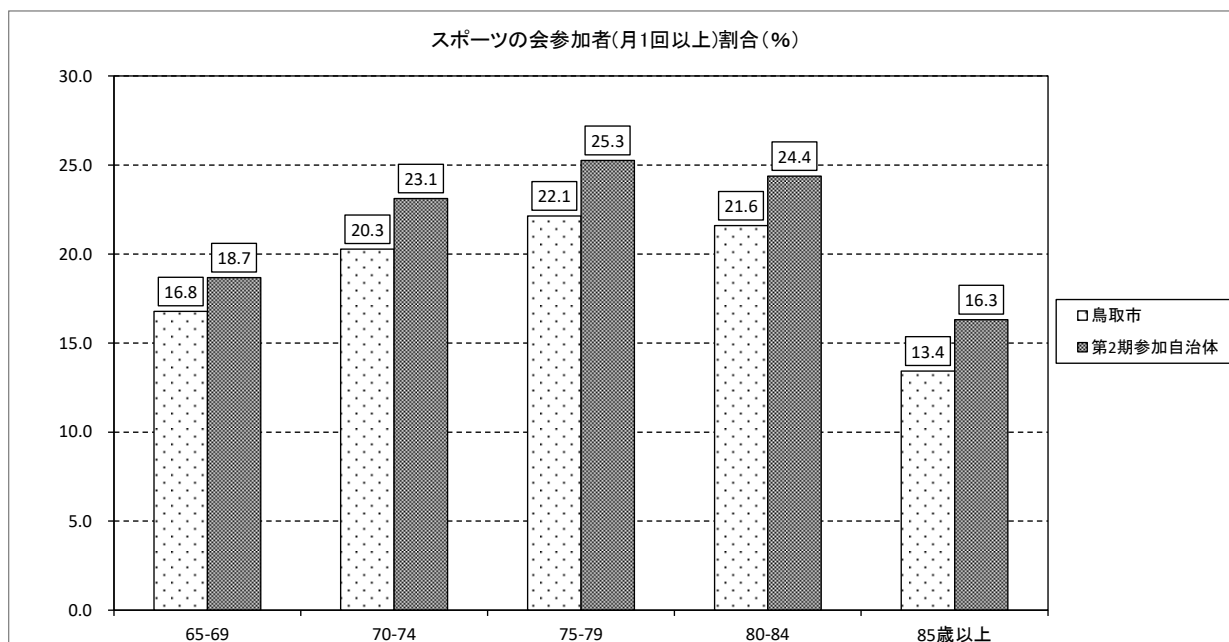


図 15 スポーツの会参加者(月1回以上)割合

介護予防ニーズ： スポーツの会参加者(月1回以上)割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	1,323	279	435	287	217	105
	%	19.2	16.8	20.3	22.1	21.6	13.4
	サンプル数	6,892	1,663	2,146	1,296	1,005	782
第2期参加自治体	人数	15,645	2,782	4,751	4,111	2,850	1,151
	%	22.2	18.7	23.1	25.3	24.4	16.3
	サンプル数	70,481	14,898	20,555	16,277	11,693	7,058

表 15 スポーツの会参加者(月1回以上)割合

(16) 社会参加：趣味の会参加者(月1回以上)割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「趣味の会参加者(月1回以上)割合」は大きな差はみられない。

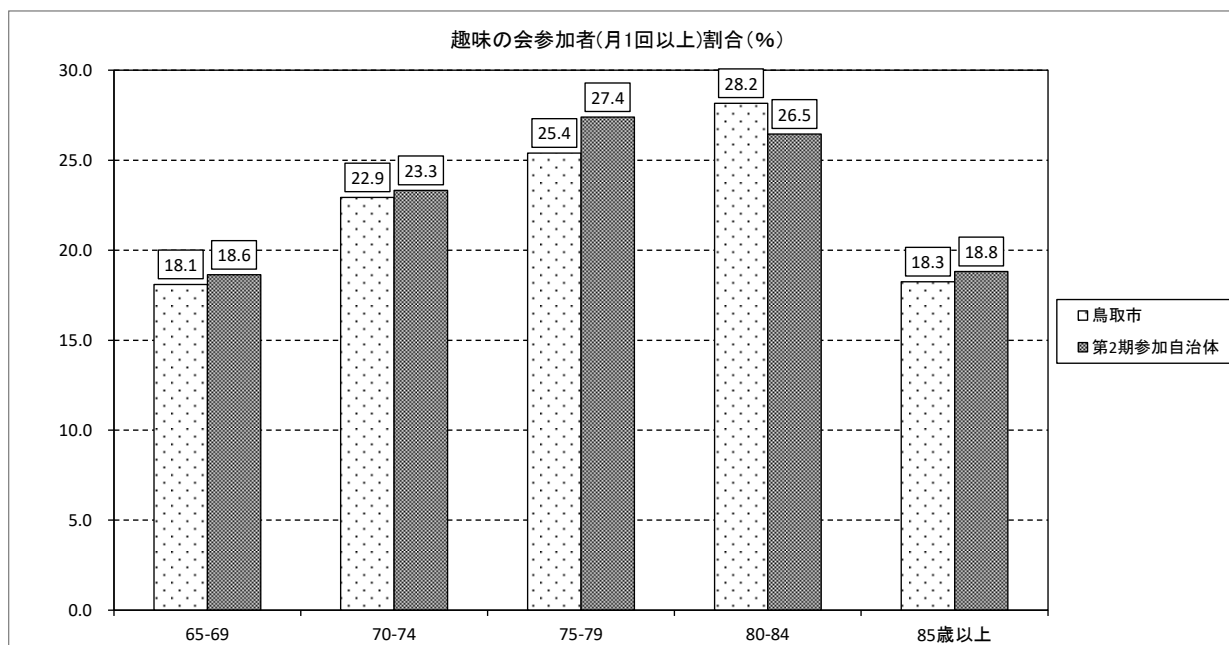


図 16 趣味の会参加者(月1回以上)割合

介護予防ニーズ： 趣味の会参加者(月1回以上)割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	1,547	301	492	328	284	142
	%	22.5	18.1	22.9	25.4	28.2	18.3
	サンプル数	6,885	1,663	2,145	1,291	1,008	778
第2期参加自治体	人数	16,451	2,777	4,798	4,459	3,094	1,323
	%	23.3	18.6	23.3	27.4	26.5	18.8
	サンプル数	70,460	14,900	20,563	16,274	11,692	7,031

表 16 趣味の会参加者(月1回以上)割合

(17) 社会参加：学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合』は「85歳以上」でやや高い。「75-79歳」で低くなっている。

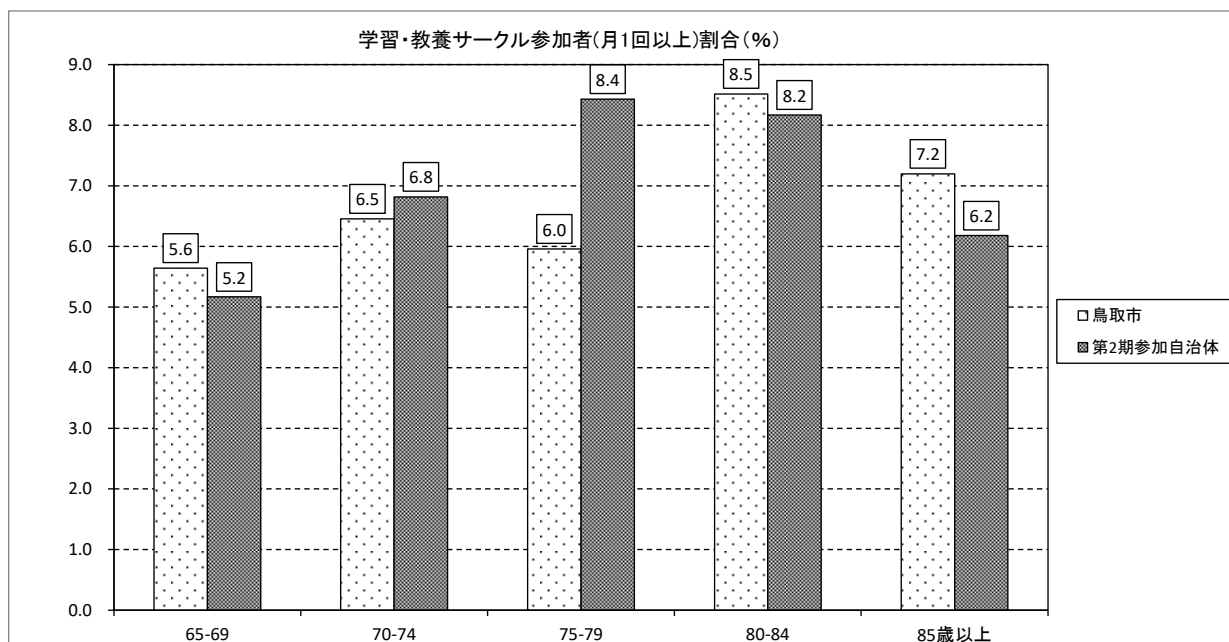


図 17 学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合

介護予防ニーズ： 学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	451	94	138	77	85	57
	%	6.6	5.6	6.5	6.0	8.5	7.2
	サンプル数	6,885	1,666	2,137	1,292	998	792
第2期参加自治体	人数	4,924	770	1,400	1,368	952	434
	%	7.0	5.2	6.8	8.4	8.2	6.2
	サンプル数	70,337	14,902	20,530	16,227	11,654	7,024

表 17 学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合

(18) 社会参加：通いの場参加者(月1回以上)割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『通いの場参加者(月1回以上)割合』は「75-79歳」、「80-84歳」でやや低くなっている。

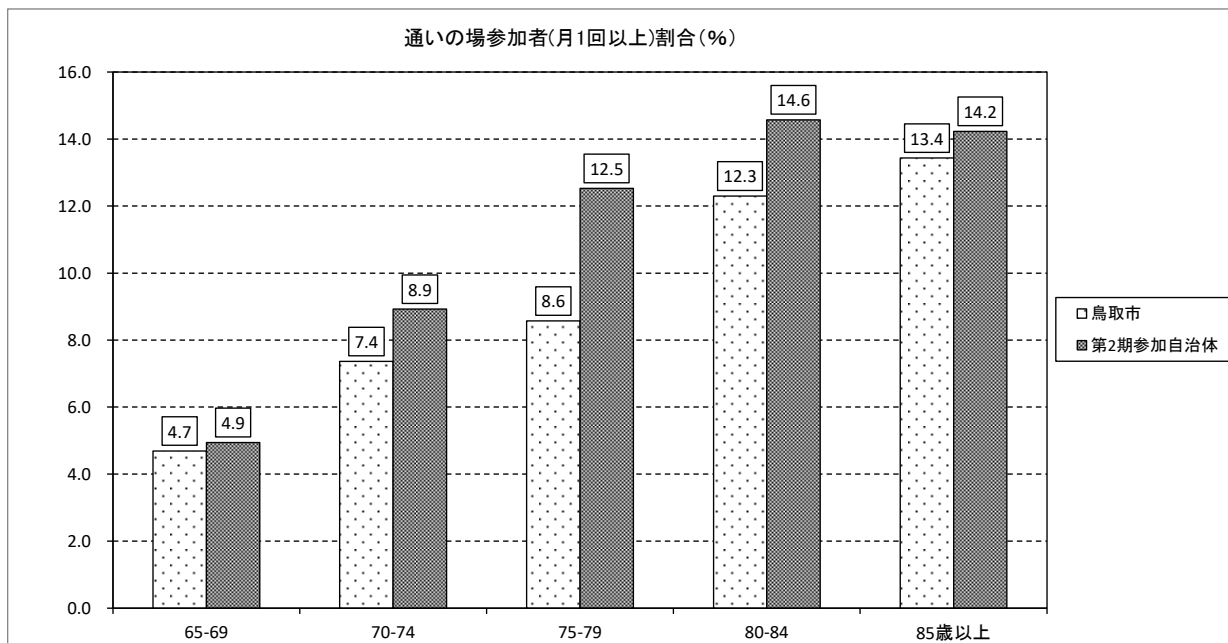


図 18 通いの場参加者(月1回以上)割合

介護予防ニーズ： 通いの場参加者(月1回以上)割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	580	78	158	111	125	108
	%	8.4	4.7	7.4	8.6	12.3	13.4
	サンプル数	6,924	1,663	2,146	1,295	1,016	804
第2期参加自治体	人数	7,348	736	1,836	2,044	1,715	1,017
	%	10.4	4.9	8.9	12.5	14.6	14.2
	サンプル数	70,702	14,897	20,578	16,317	11,765	7,145

表 18 通いの場参加者(月1回以上)割合

(19) 社会参加：特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合』は「65-69歳」、「80-84歳」でやや高い。「75-79歳」、「85歳以上」で低くなっている。

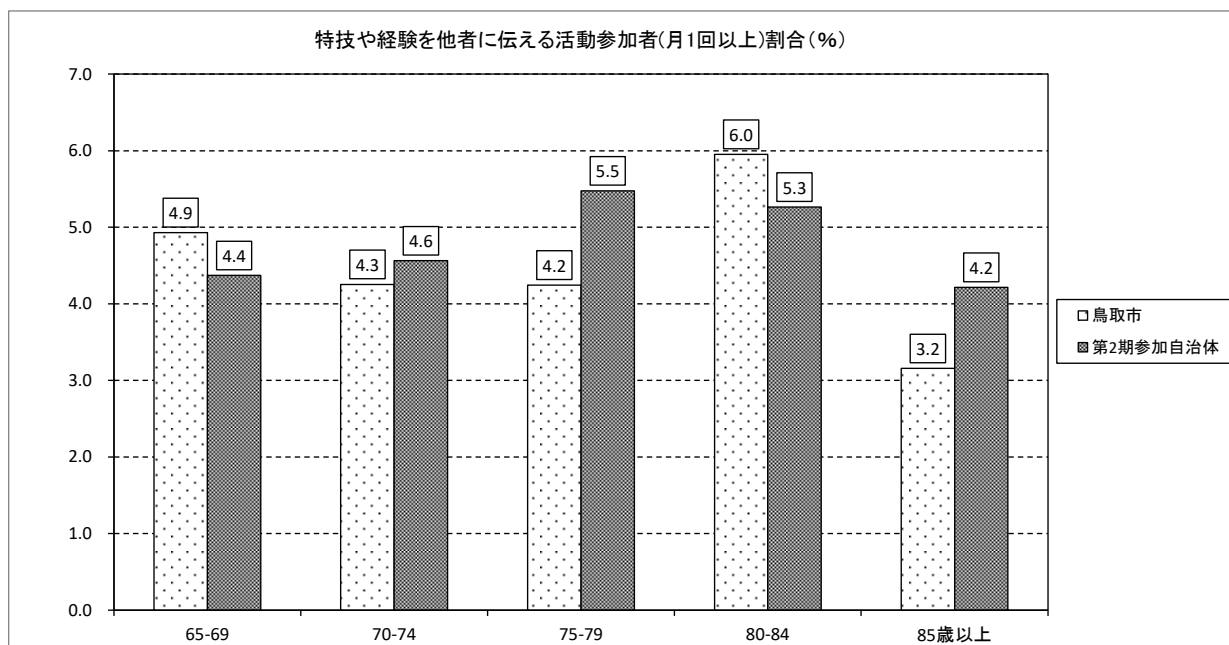


図 19 特技や経験を他者に伝える活動参加者割合

介護予防ニーズ： 特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	313	82	91	55	60	25
	%	4.5	4.9	4.3	4.2	6.0	3.2
	サンプル数	6,898	1,663	2,139	1,296	1,008	792
第2期参加自治体	人数	3,388	651	937	889	614	297
	%	4.8	4.4	4.6	5.5	5.3	4.2
	サンプル数	70,380	14,897	20,538	16,237	11,663	7,045

表 19 特技や経験を他者に伝える活動参加者割合

(20) 社会的ネットワーク：友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると『友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合』は「65-69歳」、「70-74歳」でやや高くなっている。

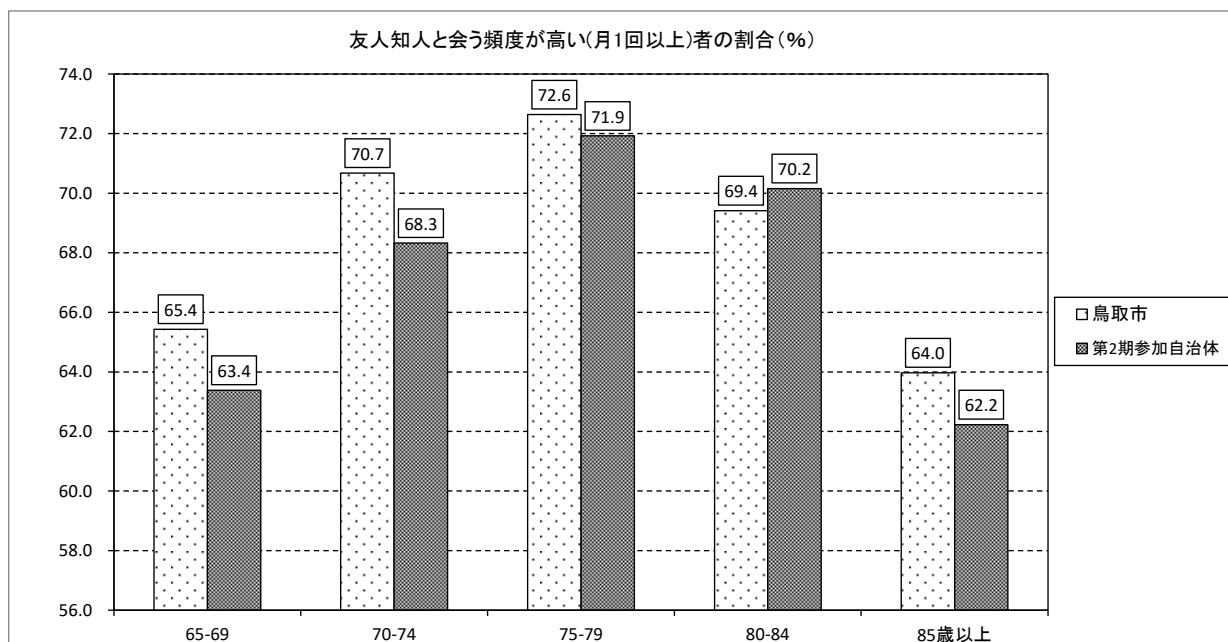


図 20 友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合

介護予防ニーズ： 友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
鳥取市	人数	4,851	1,098	1,523	961	724	545
	%	68.8	65.4	70.7	72.6	69.4	64.0
	サンプル数	7,051	1,678	2,155	1,323	1,043	852
第2期参加自治体	人数	48,747	9,493	14,165	11,920	8,515	4,654
	%	67.8	63.4	68.3	71.9	70.2	62.2
	サンプル数	71,898	14,977	20,732	16,573	12,137	7,479

表 20 友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合

6. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワークの小地域間比較

(1) 要介護リスク

要介護リスクの状況について『鳥取市全体平均よりも割合が高い小地域』をみると、全年齢においては、『フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）』は「西」、「江山」で高く、「気高」でとても高い。『運動機能低下者割合』は「湖南」、「気高」でやや高く、「江山」、「河原」、「鹿野」で高く、「佐治」、「青谷」でとても高い。『1年間の転倒あり割合』は「用瀬」、「青谷」でやや高く、「西」、「国府」、「福部」で高く、「江山」、「湖南」、「河原」、「佐治」でとても高い。『物忘れが多い者の割合』は「高草」、「鹿野」でやや高く、「湖南」、「河原」、「用瀬」、「青谷」で高く、「江山」、「福部」、「佐治」でとても高い。『閉じこもり者割合』は「国府」でやや高く、「中ノ郷」、「河原」、「用瀬」、「気高」で高く、「江山」でとても高い。『うつ割合』は「北」、「江山」でやや高く、「湖南」、「河原」、「気高」で高く、「西」、「青谷」でとても高い。『口腔機能低下者割合』は「南」、「湖東」、「河原」で高く、「江山」、「中ノ郷」でとても高い。『低栄養の傾向割合』は「東」、「河原」、「青谷」で高く、「北」でとても高い。『要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）』は「鹿野」でやや高く、「北」、「河原」、「佐治」で高く、「青谷」でとても高い。『認知機能低下者割合』は「北」、「国府」、「福部」、「河原」、「気高」、「鹿野」でやや高く、「湖南」で高く、「江山」でとても高い。『IADL(自立度)低下者割合（1項目該当）』は「福部」、「気高」でやや高く、「鹿野」、「青谷」で高く、「河原」でとても高い。『幸福感がある者（8/10点以上）の割合』は「東」、「鹿野」、「青谷」でやや高く、「北」、「湖東」、「国府」で高く、「福部」でとても高い。

	鳥取市全体 (n=7,264)	東 (n=573)	西 (n=438)	南 (n=584)	北 (n=480)	江山 (n=303)	高草 (n=436)	湖東 (n=559)	湖南 (n=268)	桜ヶ丘 (n=548)	
全年齢	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	21.7	21.5	24.5	22.1	21.7	25.1	20.2	20.8	22.0	17.6(%)
	運動機能低下者割合	14.2	10.4	13.3	13.1	13.7	17.0	12.8	13.7	15.5	10.1
	1年間の転倒あり割合	29.3	24.5	31.7	26.7	27.7	34.2	28.7	25.5	34.8	27.6
	物忘れが多い者の割合	40.8	38.3	35.8	38.1	39.3	46.7	42.3	38.9	44.6	36.9
	閉じこもり者割合	5.4	5.5	4.0	4.8	5.8	7.8	5.7	4.0	3.8	3.9
	うつ割合	30.1	27.2	35.5	28.7	31.7	31.4	27.0	28.2	32.4	28.3
	口腔機能低下者割合	21.3	21.7	21.4	22.6	19.1	26.2	21.4	22.3	21.5	18.3
	低栄養の傾向割合	8.8	10.0	8.3	8.4	12.9	7.2	8.6	7.2	8.0	8.7
	要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	16.1点	14.8点	16.5点	15.3点	17.6点	16.0点	15.4点	15.2点	15.9点	15.0点
	認知機能低下者割合	35.5	36.2	36.2	34.2	36.8	41.1	36.2	35.7	37.7	32.9
IADL(自立度)低下者割合(1項目該当)	13.8	12.2	11.7	14.1	13.2	14.3	14.3	13.5	12.8	11.4	
幸福感がある者(8/10点以上)の割合	43.0	44.3	41.8	41.9	46.3	36.9	43.0	46.5	39.2	42.9	
	中ノ郷 (n=405)	国府 (n=345)	福部 (n=273)	河原 (n=382)	用瀬 (n=326)	佐治 (n=249)	気高 (n=403)	鹿野 (n=308)	青谷 (n=384)		
全年齢	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	20.1	22.1	19.0	22.6	20.9	20.9	26.3	21.8	22.7(%)	
	運動機能低下者割合	13.4	14.1	14.9	16.9	14.3	20.2	15.5	17.3	18.3	
	1年間の転倒あり割合	25.2	32.0	32.7	36.5	30.8	35.3	28.9	25.7	31.1	
	物忘れが多い者の割合	35.4	40.9	46.1	44.4	44.0	49.4	41.4	42.5	42.9	
	閉じこもり者割合	6.8	6.0	5.2	6.7	7.2	4.5	6.5	5.3	5.9	
	うつ割合	28.8	29.2	30.3	33.3	29.2	28.4	32.2	27.7	35.8	
	口腔機能低下者割合	24.8	21.3	20.4	22.9	20.3	16.6	21.0	19.1	20.8	
	低栄養の傾向割合	9.1	6.8	7.5	10.4	7.8	9.1	8.5	8.2	10.0	
	要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	15.0点	16.5点	15.4点	17.3点	16.5点	17.5点	16.4点	16.7点	18.1点	
	認知機能低下者割合	31.2	36.5	37.0	36.7	33.9	33.5	37.5	37.2	31.7	
IADL(自立度)低下者割合(1項目該当)	9.6	14.4	15.6	18.0	13.8	14.8	14.8	17.4	16.4		
幸福感がある者(8/10点以上)の割合	42.8	46.4	47.5	39.6	42.1	40.7	38.9	44.2	44.6		

表1-1 要介護リスク（全年齢）⁴

⁴ 表中の n の数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

65～74歳においては、『フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）』は「国府」でやや高く、「東」、「西」、「湖南」で高く、「気高」でとても高い。『運動機能低下者割合』は「西」、「湖東」、「気高」でやや高く、「鹿野」、「青谷」で高い。『1年間の転倒あり割合』は「西」、「湖南」、「国府」、「佐治」、「青谷」で高く、「江山」、「高草」、「河原」でとても高い。『物忘れが多い者の割合』は「佐治」、「気高」、「鹿野」でやや高く、「高草」、「湖南」、「河原」、「用瀬」、「青谷」で高く、「江山」でとても高い。『閉じこもり者割合』は「中ノ郷」、「用瀬」でやや高く、「西」、「江山」で高く、「国府」、「青谷」でとても高い。『うつ割合』は「北」、「湖南」でやや高く、「福部」で高く、「西」、「気高」、「青谷」でとても高い。『口腔機能低下者割合』は「鹿野」でやや高く、「高草」で高く、「東」、「南」、「江山」、「中ノ郷」、「気高」でとても高い。『低栄養の傾向割合』は「福部」でやや高く、「東」、「西」、「南」、「桜ヶ丘」、「河原」で高く、「北」でとても高い。『要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）』は「湖南」、「気高」、「鹿野」でやや高い。『認知機能低下者割合』は「河原」でやや高く、「東」、「高草」、「湖南」、「福部」、「気高」で高く、「江山」、「鹿野」でとても高い。『IADL(自立度)低下者割合（1項目該当）』は「江山」、「用瀬」でやや高く、「高草」、「鹿野」で高く、「福部」でとても高い。『幸福感がある者（8/10点以上）の割合』は「南」、「桜ヶ丘」でやや高く、「東」、「北」、「湖東」で高く、「国府」、「福部」でとても高い。

		鳥取市全体 (n=3,903)	東 (n=333)	西 (n=215)	南 (n=325)	北 (n=221)	江山 (n=173)	高草 (n=244)	湖東 (n=323)	湖南 (n=150)	桜ヶ丘 (n=303)
65～74歳	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	13.7	15.9	17.3	14.2	13.1	14.5	12.7	12.4	16.0	11.3 ^(%)
	運動機能低下者割合	6.8	4.8	8.5	6.3	5.9	7.0	5.5	8.8	7.4	5.0
	1年間の転倒あり割合	23.9	22.0	26.1	22.4	19.2	29.2	29.4	19.7	27.0	21.3
	物忘れが多い者の割合	37.0	37.8	32.1	34.8	32.7	43.2	39.7	34.3	39.3	35.6
	閉じこもり者割合	2.3	1.5	3.3	1.9	1.4	4.1	2.1	0.3	1.3	2.3
	うつ割合	23.9	23.0	31.0	22.4	25.8	24.3	20.2	24.4	25.7	20.2
	口腔機能低下者割合	17.3	19.4	16.1	19.4	15.1	22.7	18.6	16.9	14.8	14.3
	低栄養の傾向割合	7.7	9.2	9.2	9.1	9.7	5.9	7.9	7.0	5.4	9.2
	要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	8.9点	8.6点	9.1点	8.6点	8.7点	8.6点	9.0点	8.7点	9.5点	8.6点
	認知機能低下者割合	31.5	33.7	31.3	29.5	28.3	37.2	33.9	29.7	34.9	28.9
	IADL(自立度)低下者割合(1項目該当)	8.0	8.1	9.0	7.5	6.8	9.3	10.5	7.2	4.0	7.3
	幸福感がある者(8/10点以上)の割合	41.0	44.3	40.0	42.8	43.5	38.8	39.7	44.8	40.9	42.4
		中ノ郷 (n=231)	国府 (n=179)	福部 (n=157)	河原 (n=195)	用瀬 (n=166)	佐治 (n=124)	気高 (n=228)	鹿野 (n=163)	青谷 (n=173)	
65～74歳	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	13.9	15.6	13.4	10.8	11.4	9.7	18.4	12.3	11.6 ^(%)	
	運動機能低下者割合	7.5	6.9	6.5	6.3	4.2	6.6	8.0	8.9	10.0	
	1年間の転倒あり割合	21.1	27.0	24.2	30.7	23.5	26.2	23.1	19.9	26.6	
	物忘れが多い者の割合	34.2	36.8	37.0	40.8	39.6	38.3	38.2	38.3	39.9	
	閉じこもり者割合	3.1	5.7	2.6	1.0	3.0	-	1.8	2.5	5.4	
	うつ割合	23.1	21.9	26.3	23.8	21.3	18.9	28.0	24.1	28.4	
	口腔機能低下者割合	20.2	17.2	15.6	16.1	15.7	9.0	19.5	17.9	17.6	
	低栄養の傾向割合	7.9	5.7	8.3	9.6	7.6	3.3	5.4	5.1	7.0	
	要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	8.7点	8.7点	8.8点	9.1点	8.7点	8.8点	9.4点	9.5点	9.0点	
	認知機能低下者割合	28.5	31.6	34.4	32.8	30.1	27.0	34.1	37.3	25.9	
	IADL(自立度)低下者割合(1項目該当)	5.3	8.6	12.3	8.3	9.6	6.6	7.5	11.4	6.5	
	幸福感がある者(8/10点以上)の割合	36.3	47.1	45.4	37.0	33.8	38.1	35.0	41.3	41.5	

表1-2 要介護リスク(65～74歳)⁵

⁵ 表中のnの数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

75～84歳においては、『フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）』は「南」、「湖東」、「鹿野」、「青谷」でやや高く、「西」、「高草」で高く、「江山」、「気高」でとても高い。『運動機能低下者割合』は「高草」でやや高く、「中ノ郷」で高く、「江山」、「福部」、「佐治」、「鹿野」、「青谷」でとても高い。『1年間の転倒あり割合』は「国府」、「河原」でやや高く、「西」、「用瀬」で高く、「江山」、「湖南」、「福部」、「佐治」でとても高い。『物忘れが多い者の割合』は「高草」、「青谷」でやや高く、「江山」、「気高」、「鹿野」で高く、「湖南」、「福部」、「河原」、「佐治」でとても高い。『閉じこもり者割合』は「湖東」、「中ノ郷」、「河原」で高く、「江山」、「高草」、「福部」、「気高」でとても高い。『うつ割合』は「江山」、「桜ヶ丘」、「河原」でやや高く、「湖南」、「中ノ郷」で高く、「西」、「青谷」でとても高い。『口腔機能低下者割合』は「福部」でやや高く、「東」、「南」、「高草」、「河原」、「佐治」で高く、「西」、「江山」、「湖東」、「湖南」、「中ノ郷」でとても高い。『低栄養の傾向割合』は「東」でやや高く、「中ノ郷」、「佐治」、「気高」で高く、「北」、「湖南」、「鹿野」、「青谷」でとても高い。『要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）』は「北」、「福部」、「佐治」、「気高」、「鹿野」、「青谷」でやや高く、「江山」で高い。『認知機能低下者割合』は「西」、「湖南」で高く、「北」、「江山」、「湖東」でとても高い。『IADL(自立度)低下者割合（1項目該当）』は「湖南」でやや高く、「福部」、「河原」、「鹿野」、「青谷」で高く、「湖東」、「気高」でとても高い。『幸福感がある者（8/10点以上）の割合』は「北」、「国府」、「福部」、「鹿野」で高く、「高草」、「湖東」、「中ノ郷」、「用瀬」、「佐治」でとても高い。

		鳥取市全体 (n=2,446)	東 (n=181)	西 (n=170)	南 (n=195)	北 (n=177)	江山 (n=92)	高草 (n=149)	湖東 (n=176)	湖南 (n=94)	桜ヶ丘 (n=198)
75～84歳	フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）	24.4	22.8	27.6	25.6	20.3	33.7	28.2	26.1	21.3	21.7
	運動機能低下者割合	16.4	11.9	12.6	14.2	12.6	23.9	18.1	13.8	17.4	13.7
	1年間の転倒あり割合	31.9	23.9	34.7	28.6	30.5	39.1	27.3	29.1	42.4	32.0
	物忘れが多い者の割合	42.3	35.7	37.0	38.7	43.0	44.3	43.8	40.2	48.4	37.2
	閉じこもり者割合	5.6	5.7	3.0	3.7	4.1	7.7	8.3	6.9	3.3	5.1
	うつ割合	34.1	29.5	40.5	34.4	32.0	35.6	35.0	31.2	37.9	35.2
	口腔機能低下者割合	24.1	25.3	27.3	25.3	19.1	28.6	25.7	30.2	26.1	21.9
	低栄養の傾向割合	8.6	9.4	6.1	7.4	13.5	9.0	7.9	5.9	10.9	6.9
	要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）	21.6点	20.8点	21.7点	20.9点	22.2点	23.2点	21.3点	21.2点	21.4点	21.1点
	認知機能低下者割合	36.3	35.6	38.3	36.1	40.8	45.7	36.3	40.6	39.1	36.0
	IADL(自立度)低下者割合(1項目該当)	14.6	13.0	12.0	15.2	11.5	13.0	13.7	18.9	16.3	15.2
幸福感がある者(8/10点以上)の割合	43.5	42.9	40.4	38.0	46.7	28.2	47.5	48.5	37.5	43.0	
		中ノ郷 (n=137)	国府 (n=116)	福部 (n=84)	河原 (n=116)	用瀬 (n=106)	佐治 (n=83)	気高 (n=119)	鹿野 (n=108)	青谷 (n=145)	
75～84歳	フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）	24.3	20.9	25.0	23.3	19.8	19.3	28.6	25.9	25.5	(%)
	運動機能低下者割合	18.7	14.2	25.0	15.8	14.6	25.0	16.9	21.5	21.1	
	1年間の転倒あり割合	29.1	33.6	42.9	33.0	34.0	40.0	30.5	29.2	32.4	
	物忘れが多い者の割合	36.8	41.1	59.0	48.2	42.2	53.1	45.6	45.3	43.7	
	閉じこもり者割合	6.7	3.6	9.6	7.0	4.9	4.9	9.3	4.7	4.3	
	うつ割合	37.3	30.7	33.3	36.0	33.3	24.7	34.5	27.9	40.8	
	口腔機能低下者割合	29.9	22.3	25.0	25.4	19.6	25.6	20.9	14.0	19.7	
	低栄養の傾向割合	9.8	7.0	6.1	8.2	1.9	10.4	10.0	12.5	12.1	
	要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）	21.1点	21.6点	22.4点	21.8点	20.8点	22.5点	22.6点	22.2点	22.4点	
	認知機能低下者割合	33.6	34.8	36.9	32.5	32.4	32.9	35.6	32.7	30.8	
	IADL(自立度)低下者割合(1項目該当)	11.9	11.6	17.9	17.5	10.8	12.2	18.6	16.8	17.5	
幸福感がある者(8/10点以上)の割合	51.2	46.5	46.2	40.7	49.0	48.1	38.5	45.6	41.3		

表1-3 要介護リスク（75～84歳）⁶

⁶ 表中のnの数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

85歳以上においては、『フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）』は「湖東」でやや高く、「南」、「用瀬」、「鹿野」で高く、「江山」、「河原」、「佐治」、「気高」でとても高い。『運動機能低下者割合』は「鹿野」でやや高く、「南」、「気高」で高く、「江山」、「河原」、「用瀬」、「佐治」でとても高い。『1年間の転倒あり割合』は「福部」でやや高く、「用瀬」で高く、「桜ヶ丘」、「河原」、「佐治」、「気高」でとても高い。『物忘れが多い者の割合』は「国府」、「福部」で高く、「江山」、「湖東」、「用瀬」、「佐治」でとても高い。『閉じこもり者割合』は「気高」でやや高く、「鹿野」で高く、「東」、「南」、「北」、「江山」、「中ノ郷」、「河原」、「用瀬」でとても高い。『うつ割合』は「江山」、「桜ヶ丘」、「国府」、「河原」、「佐治」でとても高い。『口腔機能低下者割合』は「青谷」でやや高く、「福部」で高く、「江山」、「中ノ郷」、「国府」、「河原」、「用瀬」、「鹿野」でとても高い。『低栄養の傾向割合』は「高草」でやや高く、「東」、「河原」で高く、「北」、「用瀬」、「佐治」、「気高」でとても高い。『要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）』は「江山」、「湖東」、「国府」、「河原」、「鹿野」でやや高く、「佐治」で高い。『認知機能低下者割合』は「南」でやや高く、「湖東」、「佐治」で高く、「国府」、「河原」、「気高」でとても高い。『IADL(自立度)低下者割合（1項目該当）』は「高草」、「青谷」で高く、「南」、「江山」、「国府」、「河原」、「佐治」、「鹿野」でとても高い。『幸福感がある者（8/10点以上）の割合』は「西」、「北」、「中ノ郷」、「用瀬」、「鹿野」で高く、「福部」、「気高」、「青谷」でとても高い。

		鳥取市全体 (n=915)	東 (n=59)	西 (n=53)	南 (n=64)	北 (n=82)	江山 (n=38)	高草 (n=43)	湖東 (n=60)	湖南 (n=24)	桜ヶ丘 (n=47)
85歳以上	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	48.5	49.2	44.2	51.6	48.1	52.6	34.9	50.0	62.5	40.4(%)
	運動機能低下者割合	40.5	37.9	36.0	43.8	37.5	47.2	37.5	40.0	58.3	28.9
	1年間の転倒あり割合	45.8	41.8	45.1	42.2	45.0	45.7	29.3	46.7	54.2	51.1
	物忘れが多い者の割合	53.3	50.0	48.0	52.4	49.4	70.6	52.5	60.0	62.5	44.4
	閉じこもり者割合	18.9	28.1	10.0	22.2	22.1	26.5	17.5	15.3	20.8	8.9
	うつ割合	47.1	44.6	38.0	44.3	48.0	55.9	38.5	40.4	54.2	53.5
	口腔機能低下者割合	31.2	24.1	24.5	30.6	30.0	37.1	22.0	28.8	45.8	29.5
	低栄養の傾向割合	14.8	16.4	12.0	7.9	20.5	9.1	15.8	12.5	13.6	13.3
	要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	31.8点	31.2点	30.0点	32.2点	31.4点	32.4点	31.5点	32.6点	34.4点	30.3点
	認知機能低下者割合	51.2	51.7	50.0	52.4	51.9	48.6	48.8	53.3	50.0	45.7
IADL(自立度)低下者割合(1項目該当)	36.7	32.8	22.4	43.8	34.6	41.7	39.0	31.7	54.2	21.7	
幸福感がある者(8/10点以上)の割合	50.3	49.1	53.8	49.2	53.4	48.6	46.5	50.0	34.8	46.5	
		中ノ郷 (n=37)	国府 (n=50)	福部 (n=32)	河原 (n=71)	用瀬 (n=54)	佐治 (n=42)	気高 (n=56)	鹿野 (n=37)	青谷 (n=66)	
85歳以上	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	44.4	48.0	31.3	54.3	51.9	57.1	53.6	51.4	45.5(%)	
	運動機能低下者割合	31.4	40.4	29.0	49.3	46.2	51.2	42.9	41.7	33.8	
	1年間の転倒あり割合	37.1	46.8	46.9	59.1	48.1	53.8	50.0	41.2	40.0	
	物忘れが多い者の割合	37.1	55.3	56.7	48.4	62.0	75.0	46.2	52.9	49.2	
	閉じこもり者割合	31.4	12.8	6.5	23.1	26.5	17.5	19.6	20.0	10.9	
	うつ割合	33.3	54.5	43.3	55.9	46.0	67.6	45.3	44.1	44.3	
	口腔機能低下者割合	36.4	34.0	32.3	38.5	36.5	21.6	27.8	40.0	31.7	
	低栄養の傾向割合	14.7	10.9	7.1	16.7	21.3	28.1	19.6	9.7	14.3	
	要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	31.2点	32.4点	29.2点	32.5点	31.9点	33.1点	31.9点	32.6点	32.3点	
	認知機能低下者割合	40.0	58.3	50.0	55.2	49.0	53.7	55.4	50.0	49.2	
IADL(自立度)低下者割合(1項目該当)	28.6	41.7	25.0	46.3	32.7	45.0	37.0	47.1	40.6		
幸福感がある者(8/10点以上)の割合	54.3	43.8	61.3	45.3	53.8	33.3	56.9	52.8	60.7		

表1-4 要介護リスク（85歳以上）⁷

⁷ 表中のnの数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

(2) 就労

就労の状況について『鳥取市全体平均よりも割合が高い小地域』をみると、全年齢においては、「就労していない者の割合」は「西」、「青谷」でやや高く、「高草」、「国府」で高い。

65～74歳においては、「就労していない者の割合」は「用瀬」でやや高く、「西」、「青谷」で高く、「高草」でとても高い。

75～84歳においては、「就労していない者の割合」は「高草」、「湖東」、「気高」でやや高く、「南」、「江山」、「鹿野」で高く、「国府」でとても高い。

85歳以上においては、「就労していない者の割合」は「東」、「西」、「北」、「湖東」、「桜ヶ丘」、「国府」でとても高い。

	鳥取市全体	東	西	南	北	江山	高草	湖東	湖南	桜ヶ丘
全年齢	全年齢 (n=7,264)	全年齢 (n=573)	全年齢 (n=438)	全年齢 (n=584)	全年齢 (n=480)	全年齢 (n=303)	全年齢 (n=436)	全年齢 (n=559)	全年齢 (n=268)	全年齢 (n=548)
65～74歳	65～74歳 (n=3,903)	65～74歳 (n=333)	65～74歳 (n=215)	65～74歳 (n=325)	65～74歳 (n=221)	65～74歳 (n=173)	65～74歳 (n=244)	65～74歳 (n=323)	65～74歳 (n=150)	65～74歳 (n=303)
75～84歳	75～84歳 (n=2,446)	75～84歳 (n=181)	75～84歳 (n=170)	75～84歳 (n=195)	75～84歳 (n=177)	75～84歳 (n=92)	75～84歳 (n=149)	75～84歳 (n=176)	75～84歳 (n=94)	75～84歳 (n=198)
85歳以上	85歳以上 (n=915)	85歳以上 (n=59)	85歳以上 (n=53)	85歳以上 (n=64)	85歳以上 (n=82)	85歳以上 (n=38)	85歳以上 (n=43)	85歳以上 (n=60)	85歳以上 (n=24)	85歳以上 (n=47)
全年齢	62.4	63.0	65.3	61.3	63.7	63.8	67.3	63.8	58.8	61.8
65～74歳	54.1	55.6	59.2	50.6	50.9	55.9	62.2	54.2	50.4	53.0
75～84歳	72.3	71.4	67.8	77.5	73.0	78.2	75.9	76.1	67.9	71.3
85歳以上	74.8	83.3	82.0	72.2	81.2	69.0	66.7	83.0	78.9	83.3
	中ノ郷	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	
全年齢	全年齢 (n=405)	全年齢 (n=345)	全年齢 (n=273)	全年齢 (n=382)	全年齢 (n=326)	全年齢 (n=249)	全年齢 (n=403)	全年齢 (n=308)	全年齢 (n=384)	
65～74歳	65～74歳 (n=231)	65～74歳 (n=179)	65～74歳 (n=157)	65～74歳 (n=195)	65～74歳 (n=166)	65～74歳 (n=124)	65～74歳 (n=228)	65～74歳 (n=163)	65～74歳 (n=173)	
75～84歳	75～84歳 (n=137)	75～84歳 (n=116)	75～84歳 (n=84)	75～84歳 (n=116)	75～84歳 (n=106)	75～84歳 (n=83)	75～84歳 (n=119)	75～84歳 (n=108)	75～84歳 (n=145)	
85歳以上	85歳以上 (n=37)	85歳以上 (n=50)	85歳以上 (n=32)	85歳以上 (n=71)	85歳以上 (n=54)	85歳以上 (n=42)	85歳以上 (n=56)	85歳以上 (n=37)	85歳以上 (n=66)	
全年齢	61.1	67.3	56.0	61.9	61.7	49.3	63.3	60.0	64.6	(%)
65～74歳	53.2	54.6	53.1	54.1	57.2	44.2	55.3	46.7	58.9	
75～84歳	73.3	80.0	56.3	72.7	67.0	59.7	74.3	77.4	69.2	
85歳以上	70.6	87.5	72.0	68.8	65.9	47.1	76.7	74.1	71.2	

表2-1 就労⁸

⁸ 表中のnの数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

(3) 社会参加

社会参加の状況について『鳥取市全体平均よりも割合が低い小地域』をみると、全年齢においては、『ボランティア参加者(月1回以上)割合』は「東」、「南」、「江山」、「桜ヶ丘」でやや低く、「西」、「北」、「高草」、「中ノ郷」、「福部」で低い。『スポーツの会参加者(月1回以上)割合』は「江山」、「高草」、「湖南」、「河原」、「気高」、「鹿野」、「青谷」でやや低く、「福部」で低い。『趣味の会参加者(月1回以上)割合』は「東」、「江山」、「高草」、「福部」でやや低く、「河原」で低い。『学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合』は「東」、「高草」、「中ノ郷」、「気高」でやや低く、「江山」、「福部」で低い。『通いの場参加者(月1回以上)割合』は「江山」、「中ノ郷」でやや低い。

		鳥取市全体 (n=7,264)	東 (n=573)	西 (n=438)	南 (n=584)	北 (n=480)	江山 (n=303)	高草 (n=436)	湖東 (n=559)	湖南 (n=268)	桜ヶ丘 (n=548)
全年齢	ボランティア参加者(月1回以上)割合	11.9	10.7	8.9	10.5	9.4	10.7	8.0	14.1	16.7	10.1 (%)
	スポーツの会参加者(月1回以上)割合	19.2	19.2	17.7	21.8	21.8	16.5	15.6	25.4	16.2	21.7
	趣味の会参加者(月1回以上)割合	22.5	20.1	23.4	22.1	24.9	19.3	19.1	28.6	24.2	24.2
	学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	6.6	5.3	8.3	7.5	7.0	3.5	4.7	8.1	7.3	6.7
	通いの場参加者(月1回以上)割合	8.4	7.2	6.9	6.4	9.6	4.8	6.5	9.5	10.3	8.2
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	4.5	4.8	5.3	3.9	5.0	2.4	5.1	4.7	5.0	5.7
		中ノ郷 (n=405)	国府 (n=345)	福部 (n=273)	河原 (n=382)	用瀬 (n=326)	佐治 (n=249)	気高 (n=403)	鹿野 (n=308)	青谷 (n=384)	
全年齢	ボランティア参加者割合	8.7	15.7	9.1	11.6	20.1	16.7	11.0	17.8	12.7	12.7 (%)
	スポーツの会参加者割合	23.7	21.5	14.4	16.1	18.4	18.8	15.8	15.3	16.4	
	趣味の会参加者割合	23.1	22.9	18.6	18.4	26.9	21.6	21.3	20.5	20.8	
	学習・教養サークル参加者割合	5.4	7.6	4.2	7.5	7.2	7.5	5.3	7.5	6.4	
	通いの場参加者割合	5.3	9.8	7.9	9.1	9.1	13.5	8.7	13.5	8.8	
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	4.6	4.0	3.4	3.2	5.5	6.5	3.4	5.1	3.6	

表3-1 社会参加（全年齢）⁹

⁹ 表中の n の数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

65～74 歳においては、『ボランティア参加者(月 1 回以上)割合』は「東」、「気高」でやや低く、「北」、「中ノ郷」で低く、「西」、「高草」、「福部」でとても低い。『スポーツの会参加者(月 1 回以上)割合』は「高草」、「福部」、「河原」、「佐治」、「気高」でやや低く、「江山」で低く、「鹿野」でとても低い。『趣味の会参加者(月 1 回以上)割合』は「東」、「江山」、「鹿野」でやや低く、「福部」で低い。『学習・教養サークル参加者(月 1 回以上)割合』は「高草」、「用瀬」、「鹿野」でやや低く、「江山」、「中ノ郷」、「福部」で低い。『通いの場参加者(月 1 回以上)割合』は「西」、「南」、「江山」でやや低い。

		鳥取市全体 (n=3,903)	東 (n=333)	西 (n=215)	南 (n=325)	北 (n=221)	江山 (n=173)	高草 (n=244)	湖東 (n=323)	湖南 (n=150)	桜ヶ丘 (n=303)
65 ～ 74 歳	ボランティア参加者(月1回以上)割合	12.5	10.6	7.6	12.1	9.8	11.8	8.2	13.7	17.2	12.4
	スポーツの会参加者(月1回以上)割合	18.7	18.2	17.0	21.0	23.7	14.5	16.7	24.9	17.1	19.3
	趣味の会参加者(月1回以上)割合	20.8	17.1	20.9	21.6	23.7	17.0	20.1	27.3	22.8	21.8
	学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	6.1	5.3	6.6	6.6	6.5	3.0	4.3	8.3	6.2	6.7
	通いの場参加者(月1回以上)割合	6.2	5.0	3.3	3.5	5.1	2.9	5.5	9.3	8.2	6.1
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	4.6	5.0	4.8	4.4	5.1	2.9	4.3	5.1	6.3	5.4
		中ノ郷 (n=231)	国府 (n=179)	福部 (n=157)	河原 (n=195)	用瀬 (n=166)	佐治 (n=124)	気高 (n=228)	鹿野 (n=163)	青谷 (n=173)	
65 ～ 74 歳	ボランティア参加者割合	9.3	14.8	7.1	14.2	20.0	18.2	11.3	18.9	16.6	(%)
	スポーツの会参加者割合	24.0	19.2	15.9	16.3	17.6	16.5	15.8	11.4	18.9	
	趣味の会参加者割合	22.1	19.4	16.8	19.5	21.2	22.0	18.8	17.7	21.6	
	学習・教養サークル参加者割合	4.0	9.0	3.2	10.0	4.3	5.9	6.3	4.5	7.1	
	通いの場参加者割合	5.7	7.9	5.1	8.4	6.1	9.1	5.4	8.3	10.1	
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	4.4	5.1	1.9	3.7	6.1	6.6	2.3	4.5	4.2	

表 3-2 社会参加 (65～74 歳) ¹⁰

¹⁰ 表中の n の数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

75～84 歳においては、『ボランティア参加者(月 1 回以上)割合』は「気高」でやや低く、「西」、
「南」、「河原」、「青谷」で低く、「北」、「高草」、「桜ヶ丘」、「中ノ郷」でとても低い。『スポーツの
会参加者(月 1 回以上)割合』は「西」、「気高」、「鹿野」、「青谷」でやや低く、「高草」、「湖南」、「河
原」で低く、「福部」でとても低い。『趣味の会参加者(月 1 回以上)割合』は「福部」、「佐治」、「鹿
野」でやや低く、「高草」、「河原」、「青谷」でとても低い。『学習・教養サークル参加者(月 1 回以上)
割合』は「高草」、「中ノ郷」、「青谷」でやや低く、「東」、「江山」、「河原」で低く、「福部」、「気高」
でとても低い。『通いの場参加者(月 1 回以上)割合』は「江山」、「高草」、「青谷」でやや低く、「中ノ
郷」でとても低い。

		鳥取市全体 (n=2,446)	東 (n=181)	西 (n=170)	南 (n=195)	北 (n=177)	江山 (n=92)	高草 (n=149)	湖東 (n=176)	湖南 (n=94)	桜ヶ丘 (n=198)
75 84 歳	ボランティア参加者(月1回以上)割合	12.5	13.5	10.3	9.9	8.3	11.5	7.9	16.8	18.7	8.1
	スポーツの会参加者(月1回以上)割合	21.9	21.9	18.9	26.9	21.2	24.1	16.5	27.4	16.5	24.7
	趣味の会参加者(月1回以上)割合	26.6	27.4	26.2	26.7	28.1	26.4	20.1	33.3	29.0	27.4
	学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	7.1	4.8	9.1	9.2	7.1	3.5	5.9	9.1	9.8	6.5
	通いの場参加者(月1回以上)割合	10.2	9.0	10.4	10.8	12.9	8.0	6.5	8.4	9.6	9.6
特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	5.0	3.6	4.9	3.3	4.8	2.3	7.2	4.9	3.2	7.0	
		中ノ郷 (n=137)	国府 (n=116)	福部 (n=84)	河原 (n=116)	用瀬 (n=106)	佐治 (n=83)	気高 (n=119)	鹿野 (n=108)	青谷 (n=145)	
75 84 歳	ボランティア参加者割合	8.4	19.0	16.5	10.2	22.8	14.3	11.2	18.1	10.4	(%)
	スポーツの会参加者割合	26.7	28.2	13.0	17.1	25.7	22.1	18.3	19.4	18.0	
	趣味の会参加者割合	27.5	30.6	24.4	17.8	34.3	23.4	29.0	24.5	20.1	
	学習・教養サークル参加者割合	6.1	6.5	2.6	3.8	10.1	11.7	2.8	11.7	6.1	
	通いの場参加者割合	3.0	14.0	12.8	10.2	11.1	15.6	12.8	16.2	8.1	
特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	6.1	3.7	7.7	2.8	5.0	6.4	6.4	6.7	4.5		

表 3-3 社会参加 (75～84 歳) ¹¹

¹¹ 表中の n の数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

85歳以上においては、『ボランティア参加者(月1回以上)割合』は「中ノ郷」、「河原」でやや低く、「南」で低く、「東」、「江山」、「桜ヶ丘」、「福部」でとても低い。『スポーツの会参加者(月1回以上)割合』は「南」、「福部」でやや低く、「中ノ郷」、「気高」で低く、「江山」、「高草」、「用瀬」、「青谷」でとても低い。『趣味の会参加者(月1回以上)割合』は「東」、「河原」、「佐治」、「気高」でやや低く、「江山」、「中ノ郷」、「福部」で低く、「南」、「高草」でとても低い。『学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合』は「江山」、「河原」でやや低く、「湖東」、「国府」、「佐治」、「青谷」で低く、「高草」でとても低い。『通いの場参加者(月1回以上)割合』は「西」、「福部」、「河原」でやや低く、「南」で低く、「江山」、「国府」、「青谷」でとても低い。

		鳥取市全体 (n=915)	東 (n=59)	西 (n=53)	南 (n=64)	北 (n=82)	江山 (n=38)	高草 (n=43)	湖東 (n=60)	湖南 (n=24)	桜ヶ丘 (n=47)
85歳以上	ボランティア参加者(月1回以上)割合	7.5	1.9	9.8	3.5	10.8	3.1	7.7	7.8	4.8	2.4
	スポーツの会参加者(月1回以上)割合	13.4	16.7	17.1	10.3	17.8	6.3	5.3	21.8	8.7	25.0
	趣味の会参加者(月1回以上)割合	18.3	15.4	25.6	10.7	21.1	12.5	10.0	21.6	13.6	26.8
	学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	7.2	7.4	13.6	6.9	8.1	6.1	2.5	3.7	4.3	7.1
	通いの場参加者(月1回以上)割合	13.4	14.5	10.9	8.3	14.7	6.3	12.5	14.5	27.3	16.7
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	3.2	7.3	9.1	3.3	5.4	-	2.5	1.9	4.5	2.4
		中ノ郷 (n=37)	国府 (n=50)	福部 (n=32)	河原 (n=71)	用瀬 (n=54)	佐治 (n=42)	気高 (n=56)	鹿野 (n=37)	青谷 (n=66)	
85歳以上	ボランティア参加者割合	6.3	11.4	-	5.6	14.6	16.7	8.9	12.1	6.7	
	スポーツの会参加者割合	9.1	15.6	10.3	13.5	4.7	19.4	9.1	21.2	5.2	
	趣味の会参加者割合	12.5	18.2	13.3	15.7	31.1	16.1	15.6	21.9	20.0	
	学習・教養サークル参加者割合	12.5	4.7	12.9	6.0	11.4	3.2	6.5	9.1	5.0	
	通いの場参加者割合	12.1	7.0	9.7	9.6	15.6	25.8	14.9	28.6	6.7	
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	-	-	-	2.0	4.5	6.5	2.2	3.1	-	

表3-4 社会参加(85歳以上)¹²

¹² 表中のnの数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

(4) 社会的ネットワーク

社会的ネットワークの状況について『鳥取市全体平均よりも割合が低い小地域』をみると、全年齢においては、「友人知人と会う頻度が高い者の割合」は「中ノ郷」でやや低く、「西」、「高草」、「桜ヶ丘」で低く、「東」でとても低い。

65～74歳においては、「友人知人と会う頻度が高い者の割合」は「高草」でやや低く、「西」で低く、「東」、「桜ヶ丘」でとても低い。

75～84歳においては、「友人知人と会う頻度が高い者の割合」は「桜ヶ丘」、「河原」でやや低く、「中ノ郷」で低く、「高草」でとても低い。

85歳以上においては、「友人知人と会う頻度が高い者の割合」は「東」、「桜ヶ丘」でやや低く、「北」で低く、「西」、「南」、「中ノ郷」でとても低い。

鳥取市全体	東	西	南	北	江山	高草	湖東	湖南	桜ヶ丘	
全年齢 (n=7,264)	全年齢 (n=573)	全年齢 (n=438)	全年齢 (n=584)	全年齢 (n=480)	全年齢 (n=303)	全年齢 (n=436)	全年齢 (n=559)	全年齢 (n=268)	全年齢 (n=548)	
65～74歳 (n=3,903)	65～74歳 (n=333)	65～74歳 (n=215)	65～74歳 (n=325)	65～74歳 (n=221)	65～74歳 (n=173)	65～74歳 (n=244)	65～74歳 (n=323)	65～74歳 (n=150)	65～74歳 (n=303)	
75～84歳 (n=2,446)	75～84歳 (n=181)	75～84歳 (n=170)	75～84歳 (n=195)	75～84歳 (n=177)	75～84歳 (n=92)	75～84歳 (n=149)	75～84歳 (n=176)	75～84歳 (n=94)	75～84歳 (n=198)	
85歳以上 (n=915)	85歳以上 (n=59)	85歳以上 (n=53)	85歳以上 (n=64)	85歳以上 (n=82)	85歳以上 (n=38)	85歳以上 (n=43)	85歳以上 (n=60)	85歳以上 (n=24)	85歳以上 (n=47)	
全年齢	68.8	60.8	64.3	67.2	68.4	72.2	63.7	70.8	72.6	63.2
65～74歳	68.4	56.0	63.6	67.8	70.2	70.2	65.1	71.2	75.0	60.7
75～84歳	71.2	69.7	70.1	70.9	70.1	78.9	61.4	71.5	72.5	67.5
85歳以上	64.0	60.0	47.9	52.5	59.2	64.7	62.5	66.7	58.3	61.4
	中ノ郷	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	
全年齢 (n=405)	全年齢 (n=345)	全年齢 (n=273)	全年齢 (n=382)	全年齢 (n=326)	全年齢 (n=249)	全年齢 (n=403)	全年齢 (n=308)	全年齢 (n=384)	全年齢 (n=384)	
65～74歳 (n=231)	65～74歳 (n=179)	65～74歳 (n=157)	65～74歳 (n=195)	65～74歳 (n=166)	65～74歳 (n=124)	65～74歳 (n=228)	65～74歳 (n=163)	65～74歳 (n=173)	65～74歳 (n=173)	
75～84歳 (n=137)	75～84歳 (n=116)	75～84歳 (n=84)	75～84歳 (n=116)	75～84歳 (n=106)	75～84歳 (n=83)	75～84歳 (n=119)	75～84歳 (n=108)	75～84歳 (n=145)	75～84歳 (n=145)	
85歳以上 (n=37)	85歳以上 (n=50)	85歳以上 (n=32)	85歳以上 (n=71)	85歳以上 (n=54)	85歳以上 (n=42)	85歳以上 (n=56)	85歳以上 (n=37)	85歳以上 (n=66)	85歳以上 (n=66)	
全年齢	66.4	73.3	71.1	72.1	75.4	72.7	72.6	71.1	74.2	
65～74歳	68.4	73.7	68.6	75.9	71.3	72.3	73.8	72.5	71.4	
75～84歳	67.2	73.9	77.2	67.9	83.5	75.6	70.5	69.8	76.1	
85歳以上	50.0	70.2	67.7	68.3	72.0	67.6	72.2	68.6	77.4	

表4-1 社会的ネットワーク¹³

¹³ 表中の n の数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

7. 保険者独自項目の調査結果

鳥取市独自の調査項目についての結果は以下のとおりである。

【問1】フレイルについて

1) フレイル（心身が虚弱になった状態）という言葉を知っていますか。

フレイル（心身が虚弱になった状態）という言葉を知っているかを聞いたところ、「はい」は33.6%、「いいえ」は59.4%となっている。

年齢別にみると、「はい」は「85歳以上」で低い。

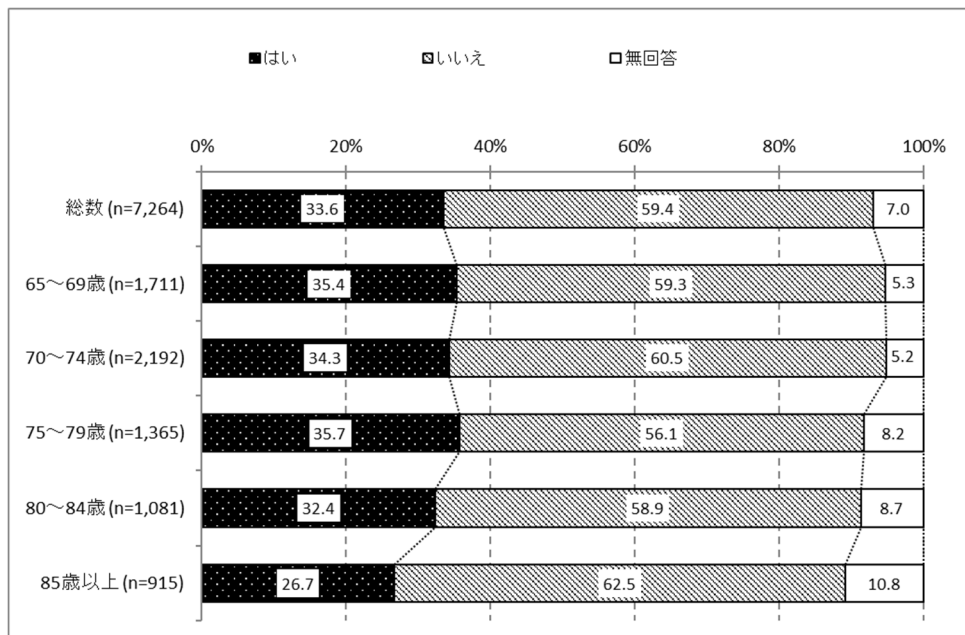


図1 フレイル（心身が虚弱になった状態）という言葉の認知度

		サンプル数	はい	いいえ	無回答
総数	人数	7,264	2,438	4,316	510
	%	100.0	33.6	59.4	7.0
65～69歳	人数	1,711	605	1,015	91
	%	100.0	35.4	59.3	5.3
70～74歳	人数	2,192	752	1,326	114
	%	100.0	34.3	60.5	5.2
75～79歳	人数	1,365	487	766	112
	%	100.0	35.7	56.1	8.2
80～84歳	人数	1,081	350	637	94
	%	100.0	32.4	58.9	8.7
85歳以上	人数	915	244	572	99
	%	100.0	26.7	62.5	10.8

表1 フレイル（心身が虚弱になった状態）という言葉の認知度

【問1】

2) フレイルは、介護サービスが必要となる一歩手前の段階です。あなたは、自分自身が今、フレイルの状態だと思いますか。

自分自身が今、フレイルの状態だと思うかを聞いたところ、「フレイルだと思う」は3.2%、「フレイルではないと思う」は72.3%、「リハビリテーション等の介護サービスが必要だと思う」は1.4%、「わからない」は15.1%となっている。

年齢別にみると、「フレイルだと思う」は年齢が高いほど、「フレイルではないと思う」は年齢が低いほど高くなっている。

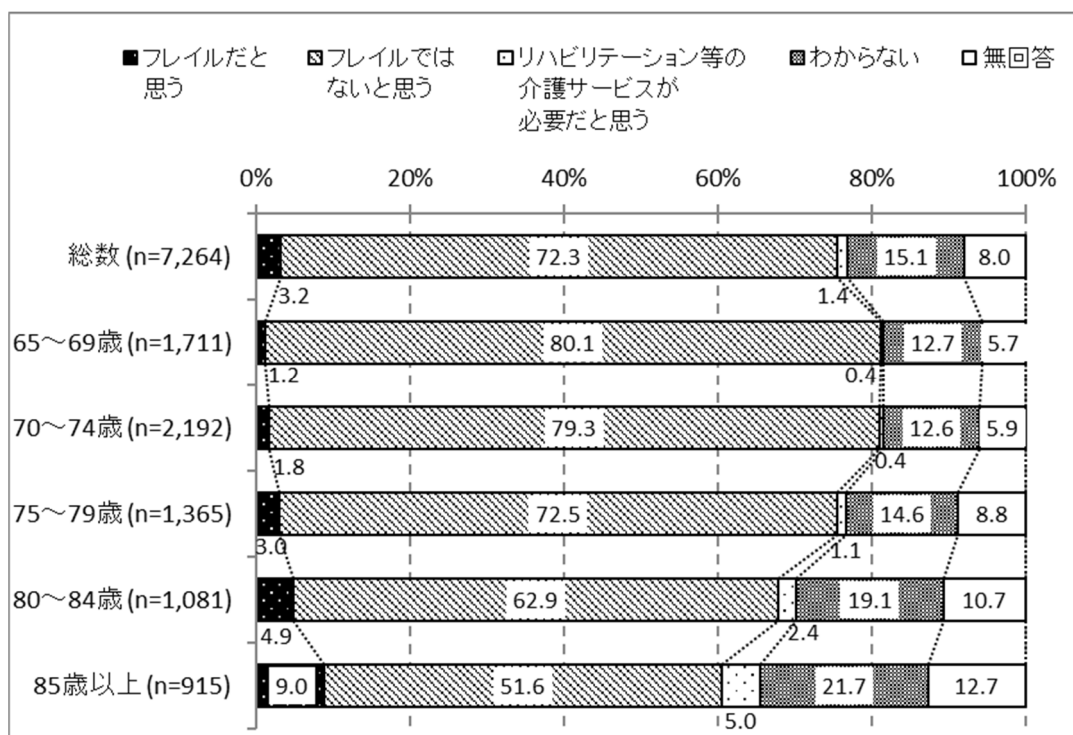


図2 自分自身が今、フレイルの状態だと思うか

	サンプル数	フレイルだと思う	フレイルではないと思う	介護サービスが必要だと思う	わからない	無回答
総数	人数	7,264	235	5,250	101	1,098
	%	100.0	3.2	72.3	1.4	15.1
65～69歳	人数	1,711	20	1,370	6	217
	%	100.0	1.2	80.1	0.4	12.7
70～74歳	人数	2,192	39	1,738	8	277
	%	100.0	1.8	79.3	0.4	12.6
75～79歳	人数	1,365	41	990	15	199
	%	100.0	3.0	72.5	1.1	14.6
80～84歳	人数	1,081	53	680	26	206
	%	100.0	4.9	62.9	2.4	19.1
85歳以上	人数	915	82	472	46	199
	%	100.0	9.0	51.6	5.0	21.7

表2 自分自身が今、フレイルの状態だと思うか

【問1】

3) フレイルを予防する取り組み（訪問相談や地域での研修、講座、フレイルチェックなど）があれば参加したいですか。

フレイルを予防する取り組み（訪問相談や地域での研修、講座、フレイルチェックなど）があれば参加したいかを聞いたところ、「参加したい」は9.4%、「どちらかといえば参加したい」は30.2%、「参加したくない」は49.1%となっている。

年齢別にみると、「参加したくない」は「65～69歳」で高い。

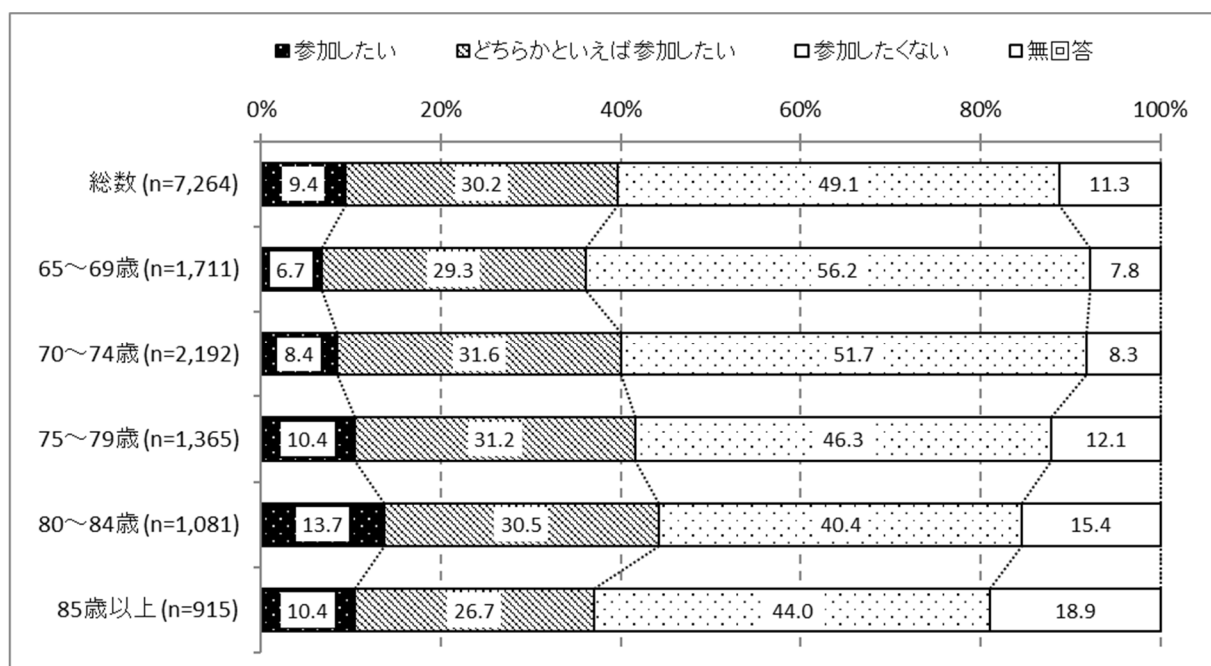


図3 フレイルを予防する取り組みがあれば参加したいか

		サンプル数	参加したい	どちらかといえば参加したい	参加したくない	無回答
総数	人数	7,264	685	2,195	3,566	818
	%	100.0	9.4	30.2	49.1	11.3
65～69歳	人数	1,711	115	502	961	133
	%	100.0	6.7	29.3	56.2	7.8
70～74歳	人数	2,192	185	693	1,133	181
	%	100.0	8.4	31.6	51.7	8.3
75～79歳	人数	1,365	142	426	632	165
	%	100.0	10.4	31.2	46.3	12.1
80～84歳	人数	1,081	148	330	437	166
	%	100.0	13.7	30.5	40.4	15.4
85歳以上	人数	915	95	244	403	173
	%	100.0	10.4	26.7	44.0	18.9

表3 フレイルを予防する取り組みがあれば参加したいか

【問2】地域包括支援センターについて

1) 地域包括支援センターを知っていますか。また、利用したことはありますか。

地域包括支援センターを知っているか、また、利用したことはあるかを聞いたところ、「利用したことがある」は10.1%、「利用したことはないが知っている」は43.4%、「知らない」は38.9%となっている。

年齢別にみると、「利用したことがある」は「85歳以上」で高い。

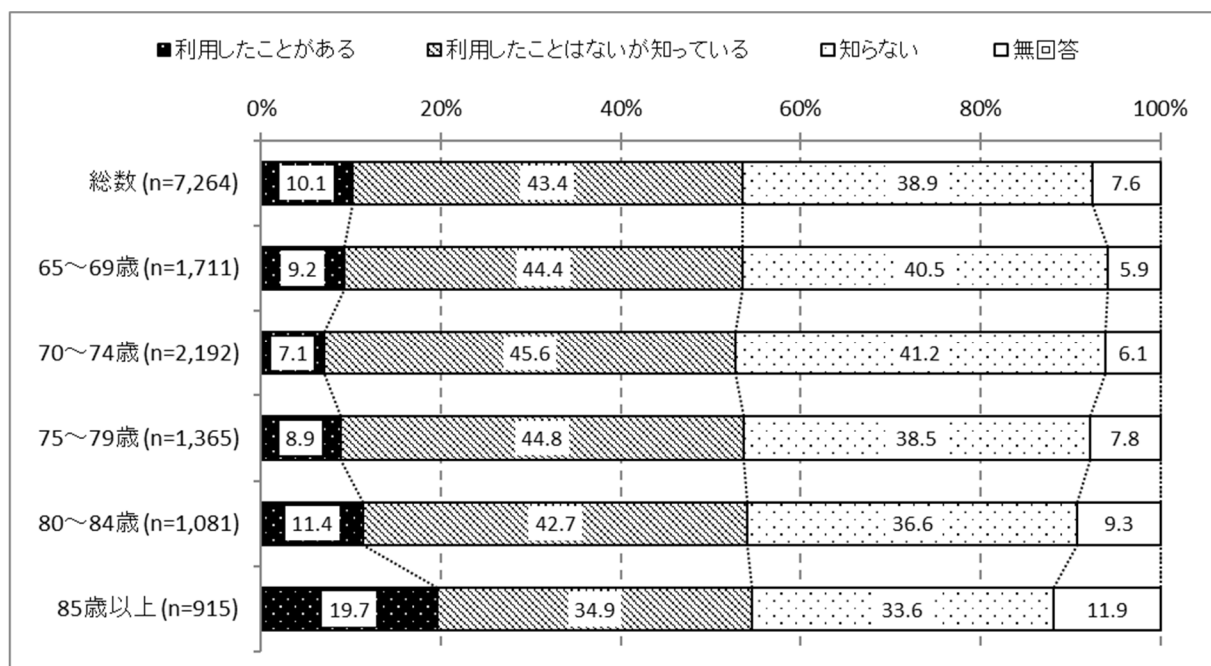


図4 地域包括支援センターを知っているか、また、利用したことはあるか

		サンプル数	利用したことがある	利用したことはないが知っている	知らない	無回答
総数	人数	7,264	737	3,152	2,824	551
	%	100.0	10.1	43.4	38.9	7.6
65～69歳	人数	1,711	158	759	693	101
	%	100.0	9.2	44.4	40.5	5.9
70～74歳	人数	2,192	155	1,000	903	134
	%	100.0	7.1	45.6	41.2	6.1
75～79歳	人数	1,365	121	612	525	107
	%	100.0	8.9	44.8	38.5	7.8
80～84歳	人数	1,081	123	462	396	100
	%	100.0	11.4	42.7	36.6	9.3
85歳以上	人数	915	180	319	307	109
	%	100.0	19.7	34.9	33.6	11.9

表4 地域包括支援センターを知っているか、また、利用したことはあるか

【問2】

2) 2. と答えた方にお聞きします。あなたに困りごとが起きたとき、地域包括支援センターに相談しようと思いますか。

地域包括支援センターを利用したことはないが知っているという回答した人(3,152人)に、自分に困りごとが起きたとき、地域包括支援センターに相談しようと思うかを聞いたところ、「相談しようと思う」は56.5%、「相談しようと思わない」は11.3%、「わからない」は30.5%となっている。

年齢別にみると、どの年代も「相談しようと思う」は半数を超えており、「80～84歳」では6割となっている。

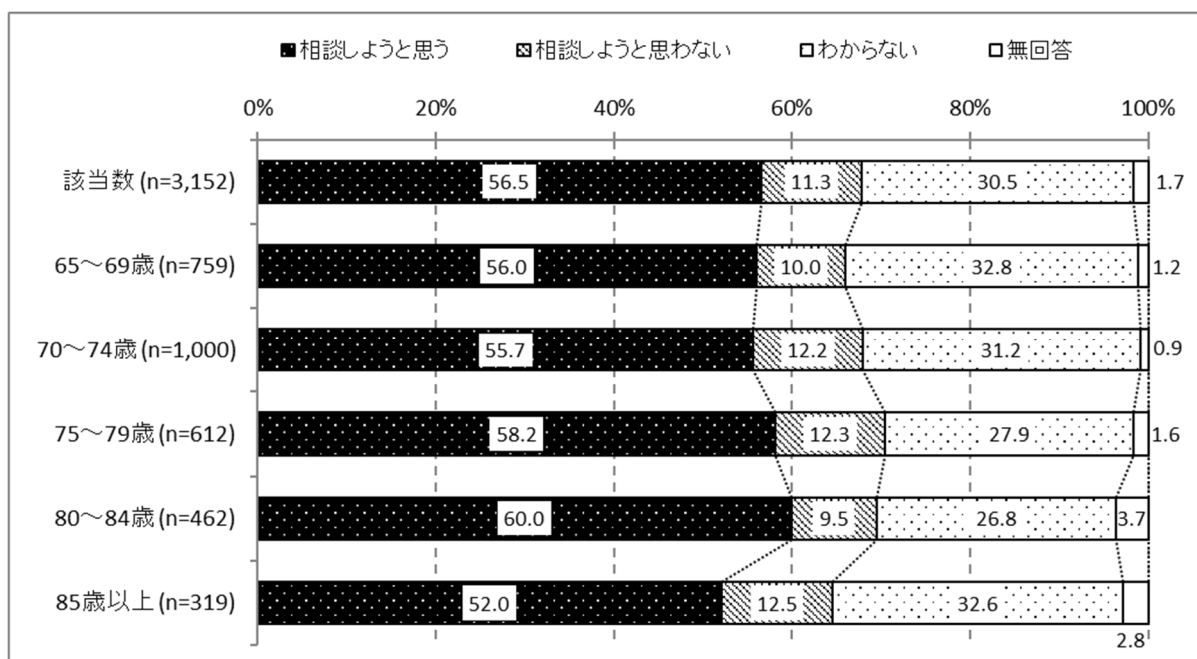


図5 自分に困りごとが起きたとき、地域包括支援センターに相談しようと思うか

		サンプル数	相談しようと思う	相談しようと思わない	わからない	無回答
該当数	人数	3,152	1,781	357	960	54
	%	100.0	56.5	11.3	30.5	1.7
65～69歳	人数	759	425	76	249	9
	%	100.0	56.0	10.0	32.8	1.2
70～74歳	人数	1,000	557	122	312	9
	%	100.0	55.7	12.2	31.2	0.9
75～79歳	人数	612	356	75	171	10
	%	100.0	58.2	12.3	27.9	1.6
80～84歳	人数	462	277	44	124	17
	%	100.0	60.0	9.5	26.8	3.7
85歳以上	人数	319	166	40	104	9
	%	100.0	52.0	12.5	32.6	2.8

表5 自分に困りごとが起きたとき、地域包括支援センターに相談しようと思うか

【問2】

3) 2. または3. と答え方にお聞きします。地域包括支援センターに「相談しようと思わない」または「わからない」と答えた理由にあてはまる番号すべてに○をつけてください。

自分に困りごとが起きたとき、地域包括支援センターに「相談しようと思わない」または「わからない」と回答した人(1,317人)に、その理由を挙げてもらったところ、「何を相談できるかわからない」(36.1%)、「相談しなくても「なんとかなる」と思う」(28.4%)などが挙げられた。年齢別にみると、「相談に行く手段がない」は「80～84歳」、「85歳以上」で高い。

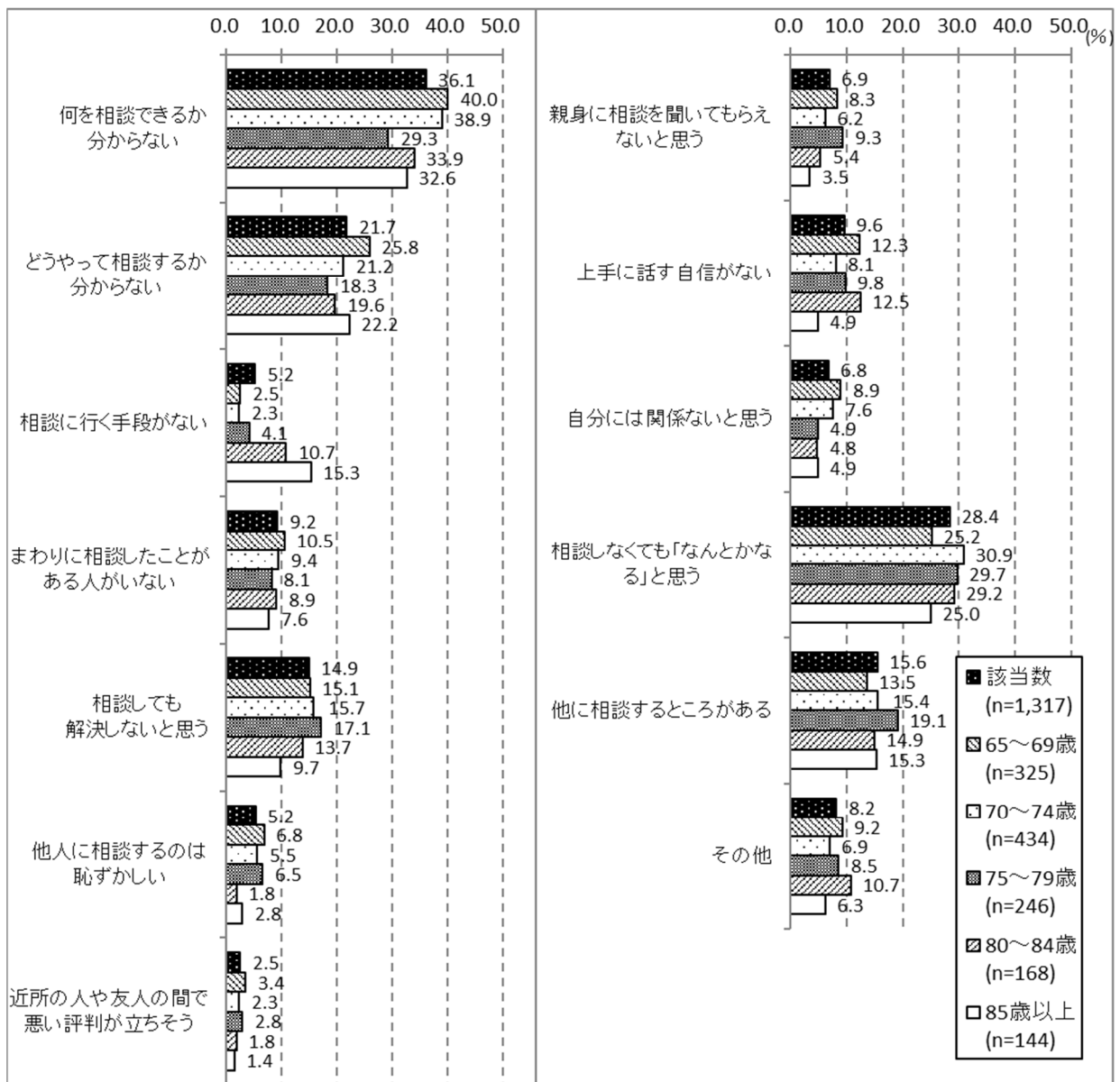


図6 地域包括支援センターに「相談しようと思わない」または「わからない」と答えた理由

		サンプル数	何を相談できるかわからない	どうやって相談するか分からない	相談に行く手段がない	まわりに相談した人がいない	相談しても解決しないと思う	他人に相談するのは恥ずかしい	近所の人の中で悪い評判が立ちそう
該当数	人数	1,317	475	286	68	121	196	69	33
	%	100.0	36.1	21.7	5.2	9.2	14.9	5.2	2.5
65～69歳	人数	325	130	84	8	34	49	22	11
	%	100.0	40.0	25.8	2.5	10.5	15.1	6.8	3.4
70～74歳	人数	434	169	92	10	41	68	24	10
	%	100.0	38.9	21.2	2.3	9.4	15.7	5.5	2.3
75～79歳	人数	246	72	45	10	20	42	16	7
	%	100.0	29.3	18.3	4.1	8.1	17.1	6.5	2.8
80～84歳	人数	168	57	33	18	15	23	3	3
	%	100.0	33.9	19.6	10.7	8.9	13.7	1.8	1.8
85歳以上	人数	144	47	32	22	11	14	4	2
	%	100.0	32.6	22.2	15.3	7.6	9.7	2.8	1.4
		親身に相談を聞いてもらえない	上手に話す自信がない	自分には関係ないと思う	相談しなくても「なんとかなる」	他に相談するところがある	その他	無回答	回答計
該当数	人数	91	127	89	374	205	108	157	2,399
	%	6.9	9.6	6.8	28.4	15.6	8.2	11.9	182.2
65～69歳	人数	27	40	29	82	44	30	33	623
	%	8.3	12.3	8.9	25.2	13.5	9.2	10.2	191.7
70～74歳	人数	27	35	33	134	67	30	48	788
	%	6.2	8.1	7.6	30.9	15.4	6.9	11.1	181.6
75～79歳	人数	23	24	12	73	47	21	26	438
	%	9.3	9.8	4.9	29.7	19.1	8.5	10.6	178.0
80～84歳	人数	9	21	8	49	25	18	20	302
	%	5.4	12.5	4.8	29.2	14.9	10.7	11.9	179.8
85歳以上	人数	5	7.0	7.0	36.0	22	9	30	248
	%	3.5	4.9	4.9	25.0	15.3	6.3	20.8	172.2

表6 地域包括支援センターに「相談しようと思わない」または「わからない」と答えた理由

【問3】健康診断について

1) あなたは1年に1回健康診断を受けていますか。

1年に1回健康診断を受けているかを聞いたところ、「はい」は60.4%、「いいえ」は33.0%となっている。

年齢別にみると、「はい」は年齢が低いほど、「いいえ」は年齢が高いほど高くなっている。

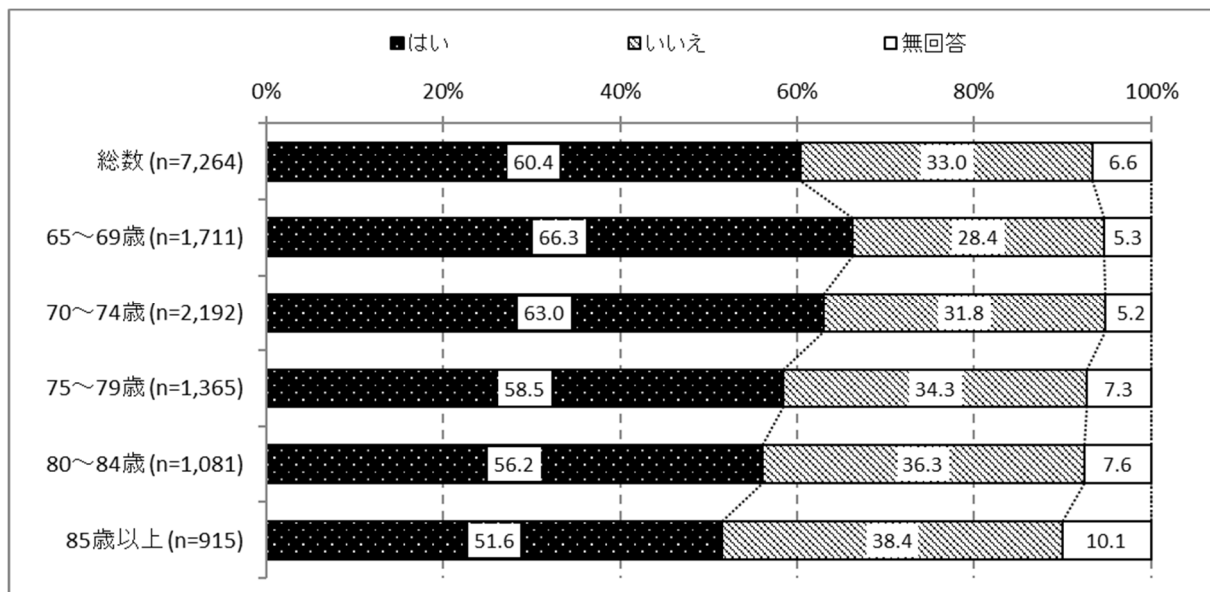


図7 1年に1回の健康診断の受診

		サンプル数	はい	いいえ	無回答
総数	人数	7,264	4,391	2,395	478
	%	100.0	60.4	33.0	6.6
65～69歳	人数	1,711	1,134	486	91
	%	100.0	66.3	28.4	5.3
70～74歳	人数	2,192	1,380	698	114
	%	100.0	63.0	31.8	5.2
75～79歳	人数	1,365	798	468	99
	%	100.0	58.5	34.3	7.3
80～84歳	人数	1,081	607	392	82
	%	100.0	56.2	36.3	7.6
85歳以上	人数	915	472	351	92
	%	100.0	51.6	38.4	10.1

表7 1年に1回の健康診断の受診

【問3】

2) 1年に1回健康診断を受けていない方におうかがいします。健康診断を受けない理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

1年に1回健康診断を受けていない人(2,395人)に、その理由を挙げてもらったところ、「定期的に病院にかかっている」(58.2%)、「治療中の病気がある」(36.1%)などが挙げられた。

年齢別にみると、「定期的に病院にかかっている」は年齢が高いほど、「毎年受ける必要性を感じない」、「面倒だから」、「費用がかかる」、「日程や時間帯の都合があわない」、「検査に不安がある」は年齢が低いほど高くなっている。

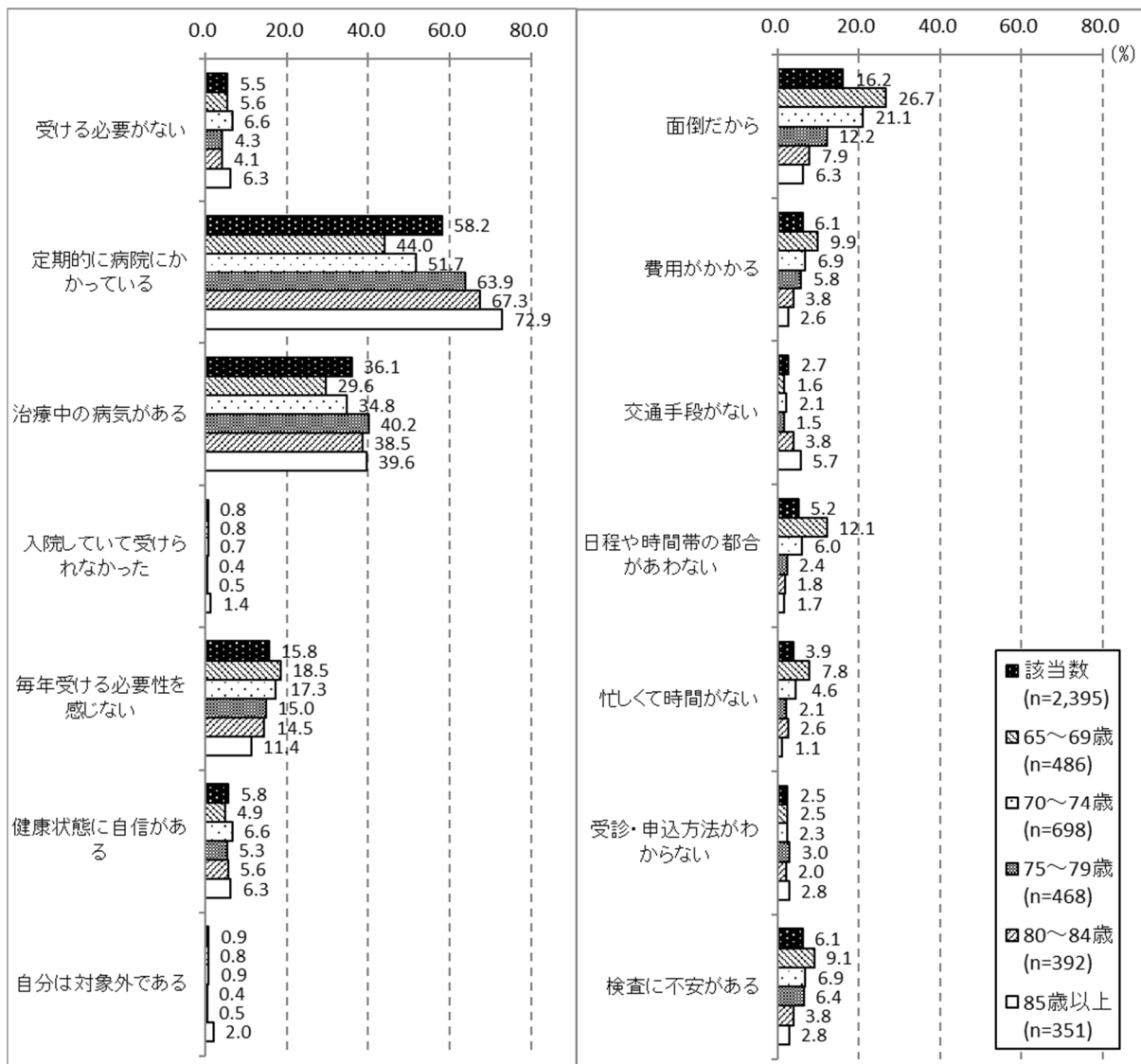


図8 1年に1回健康診断を受けない理由

		サンプル数	受ける必要がない	定期的に病院にかかっている	治療中の病気がある	入院して受けれなかった	毎年受ける必要性を感じない	健康状態に自信がある	自分に対象外である	面倒だから
該当数	人数	2,395	131	1,394	865	18	378	139	21	387
	%	100.0	5.5	58.2	36.1	0.8	15.8	5.8	0.9	16.2
65～69歳	人数	486	27	214	144	4	90	24	4	130
	%	100.0	5.6	44.0	29.6	0.8	18.5	4.9	0.8	26.7
70～74歳	人数	698	46	361	243	5	121	46	6	147
	%	100.0	6.6	51.7	34.8	0.7	17.3	6.6	0.9	21.1
75～79歳	人数	468	20	299	188	2	70	25	2	57
	%	100.0	4.3	63.9	40.2	0.4	15.0	5.3	0.4	12.2
80～84歳	人数	392	16	264	151	2	57	22	2	31
	%	100.0	4.1	67.3	38.5	0.5	14.5	5.6	0.5	7.9
85歳以上	人数	351	22	256	139	5	40	22	7	22
	%	100.0	6.3	72.9	39.6	1.4	11.4	6.3	2.0	6.3
		費用がかかる	交通手段がない	日程や時間帯の都合があわない	忙しくて時間がない	受診・申込方法がわからない	検査に不安がある	無回答	回答計	
該当数	人数	147	65	125	94	60	147	64	4,035	
	%	6.1	2.7	5.2	3.9	2.5	6.1	2.7	168.5	
65～69歳	人数	48	8	59	38	12	44	17	863	
	%	9.9	1.6	12.1	7.8	2.5	9.1	3.5	177.6	
70～74歳	人数	48	15	42	32	16	48	15	1,191	
	%	6.9	2.1	6.0	4.6	2.3	6.9	2.1	170.6	
75～79歳	人数	27	7	11	10	14	30	21	783	
	%	5.8	1.5	2.4	2.1	3.0	6.4	4.5	167.3	
80～84歳	人数	15	15	7	10	8	15	7	622	
	%	3.8	3.8	1.8	2.6	2.0	3.8	1.8	158.7	
85歳以上	人数	9	20.0	6.0	4.0	10	10	4	576	
	%	2.6	5.7	1.7	1.1	2.8	2.8	1.1	164.1	

表8 1年に1回健康診断を受けない理由

【問4】アドバンス・ケア・プランニング（ACP）について

1) 人生の最終段階の医療・ケアについて、自分の思いや考えをご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うことをアドバンス・ケア・プランニング（ACP：人生会議）といいます。知っていますか。

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を知っているかを聞いたところ、「知っている」は8.9%、「聞いたことはあるがよく知らない」は22.7%、「知らない」は65.6%となっている。

年齢別にみると、「聞いたことはあるがよく知らない」は「80～84歳」で、「知らない」は「65～69歳」で高い。

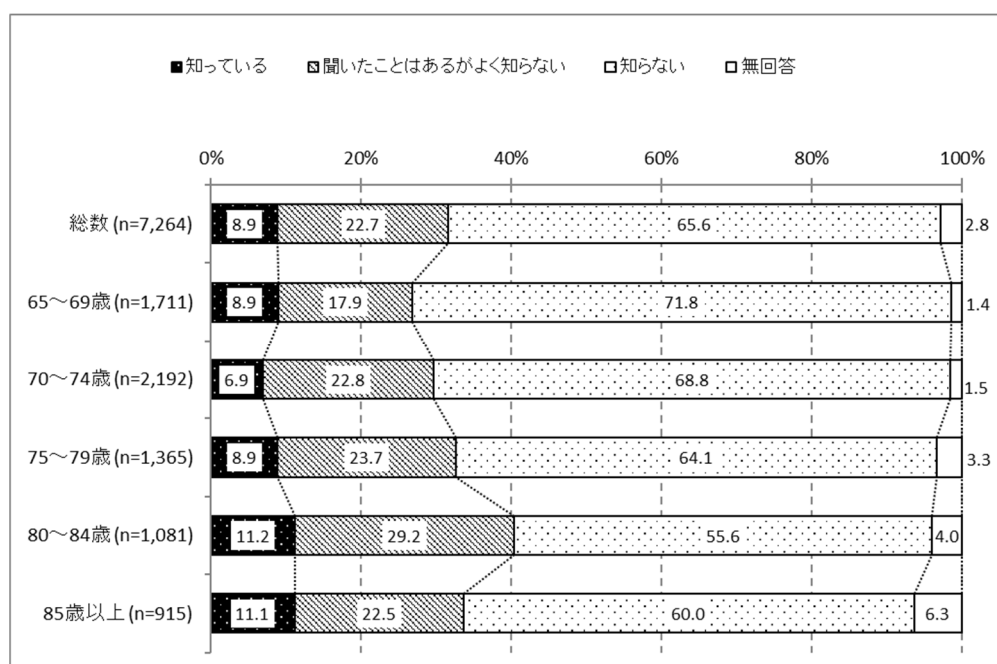


図9 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知度

		サンプル数	知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない	無回答
総数	人数	7,264	649	1,650	4,762	203
	%	100.0	8.9	22.7	65.6	2.8
65～69歳	人数	1,711	153	306	1,228	24
	%	100.0	8.9	17.9	71.8	1.4
70～74歳	人数	2,192	151	499	1,509	33
	%	100.0	6.9	22.8	68.8	1.5
75～79歳	人数	1,365	122	323	875	45
	%	100.0	8.9	23.7	64.1	3.3
80～84歳	人数	1,081	121	316	601	43
	%	100.0	11.2	29.2	55.6	4.0
85歳以上	人数	915	102	206	549	58
	%	100.0	11.1	22.5	60.0	6.3

表9 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知度

【問4】

2) もし回復の見込みのない病気(状態)になったとき、あなたならどうしてほしいですか。

もし回復の見込みのない病気(状態)になったとき、どうしてほしいかを聞いたところ、「少しでも延命できるよう、あらゆる治療をしてほしい」は2.3%、「延命目的の治療はせず自然にまかせてほしい」は34.3%、「苦痛を少なくすることを重視したい」は30.3%、「今は分からない」は30.8%となっている。

年齢別にみると、「延命目的の治療はせず自然にまかせてほしい」は「85歳以上」で、「苦痛を少なくすることを重視したい」は「65～69歳」でやや高い。

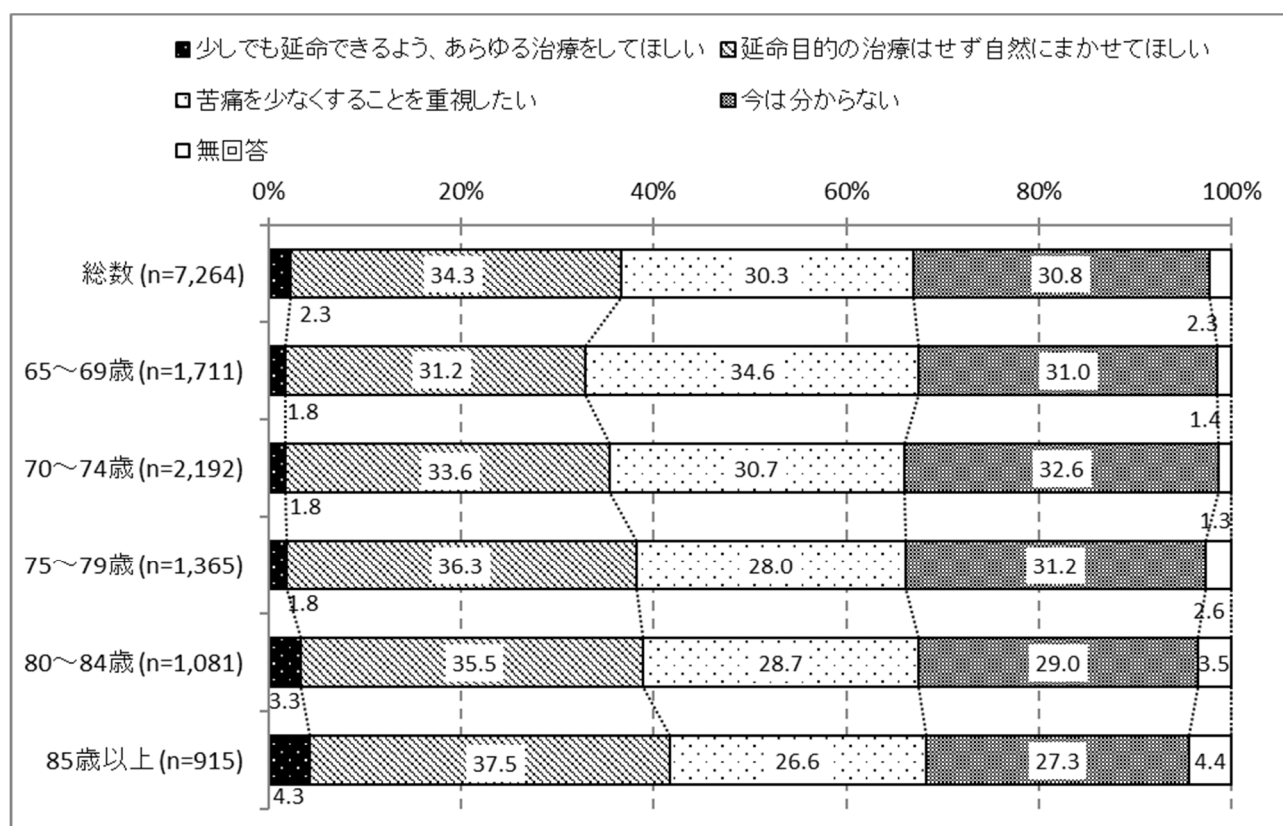


図10 回復の見込みのない病気(状態)になったとき、どうしてほしいか

		サンプル数	少しでも延命、あらゆる治療してほしい	延命目的の治療せず自然にまかせる	苦痛を少なくすることを重視したい	今は分からない	無回答
総数	人数	7,264	169	2,494	2,200	2,234	167
	%	100.0	2.3	34.3	30.3	30.8	2.3
65～69歳	人数	1,711	30	534	592	531	24
	%	100.0	1.8	31.2	34.6	31.0	1.4
70～74歳	人数	2,192	39	737	673	714	29
	%	100.0	1.8	33.6	30.7	32.6	1.3
75～79歳	人数	1,365	25	496	382	426	36
	%	100.0	1.8	36.3	28.0	31.2	2.6
80～84歳	人数	1,081	36	384	310	313	38
	%	100.0	3.3	35.5	28.7	29.0	3.5
85歳以上	人数	915	39	343	243	250	40
	%	100.0	4.3	37.5	26.6	27.3	4.4

表 10 回復の見込みのない病気（状態）になったとき、どうしてほしいか

【問5】聞こえについて

1) 会話をする時に、困ることや、問題だと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

会話をする時に、困ることや、問題だと感じることを挙げてもらったところ、「話を聞き間違える」(20.1%)、「あいまいに返事をしてしまう」(16.0%)などが挙げられた。なお、「特に困ることはない」は66.0%となっている。

年齢別にみると、「特に困ることはない」は年齢が高いほど低くなり、「85歳以上」では半数を下回る。困ったことでは、「話を聞き間違える」は「85歳以上」でもっとも高くなっており、3割を超えている。

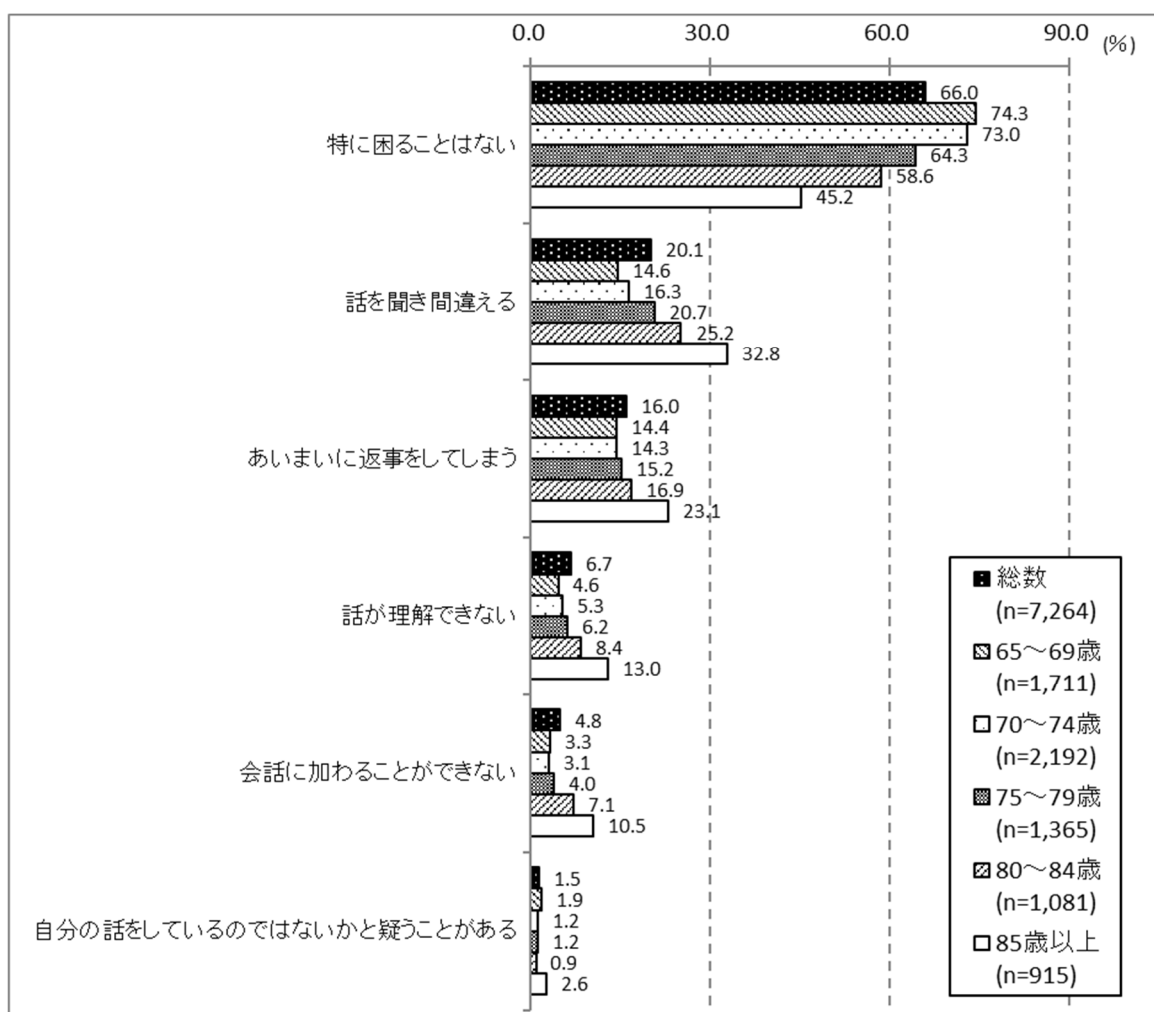


図11 会話をする時に、困ることや、問題だと感じること

		サンプル 数	特に困 ことはな い	話を聞き 間違える	あいまい に返事を してしま う	話が理解 できない	会話に加 わること ができな い	自分の話 をしてる か疑うこ とがある	無回答	回答計
総数	人数	7,264	4,797	1,461	1,162	490	352	108	321	8,691
	%	100.0	66.0	20.1	16.0	6.7	4.8	1.5	4.4	119.6
65～69歳	人数	1,711	1,272	249	247	79	56.0	32	37	1,972
	%	100.0	74.3	14.6	14.4	4.6	3.3	1.9	2.2	115.3
70～74歳	人数	2,192	1,600	358	313	116	69	26.0	57	2,539
	%	100.0	73.0	16.3	14.3	5.3	3.1	1.2	2.6	115.8
75～79歳	人数	1,365	878	282	208	85	54	16.0	83	1,606
	%	100.0	64.3	20.7	15.2	6.2	4.0	1.2	6.1	117.7
80～84歳	人数	1,081	633	272	183	91	77	10	64	1,330
	%	100.0	58.6	25.2	16.9	8.4	7.1	0.9	5.9	123.0
85歳以上	人数	915	414	300	211	119	96	24	80	1,244
	%	100.0	45.2	32.8	23.1	13.0	10.5	2.6	8.7	136.0

表 11 会話をする時に、困ることや、問題だと感じること

【問5】

2) これまでに補聴器を利用したことはありますか。

これまでに補聴器を利用したことはあるかを聞いたところ、「現在、利用している」は6.1%、「以前利用していたが、今は利用していない」は2.0%、「利用したことはない」は89.9%となっている。

年齢別にみると、「現在、利用している」は年齢が高いほど高くなり、「85歳以上」では2割近くとなっている。

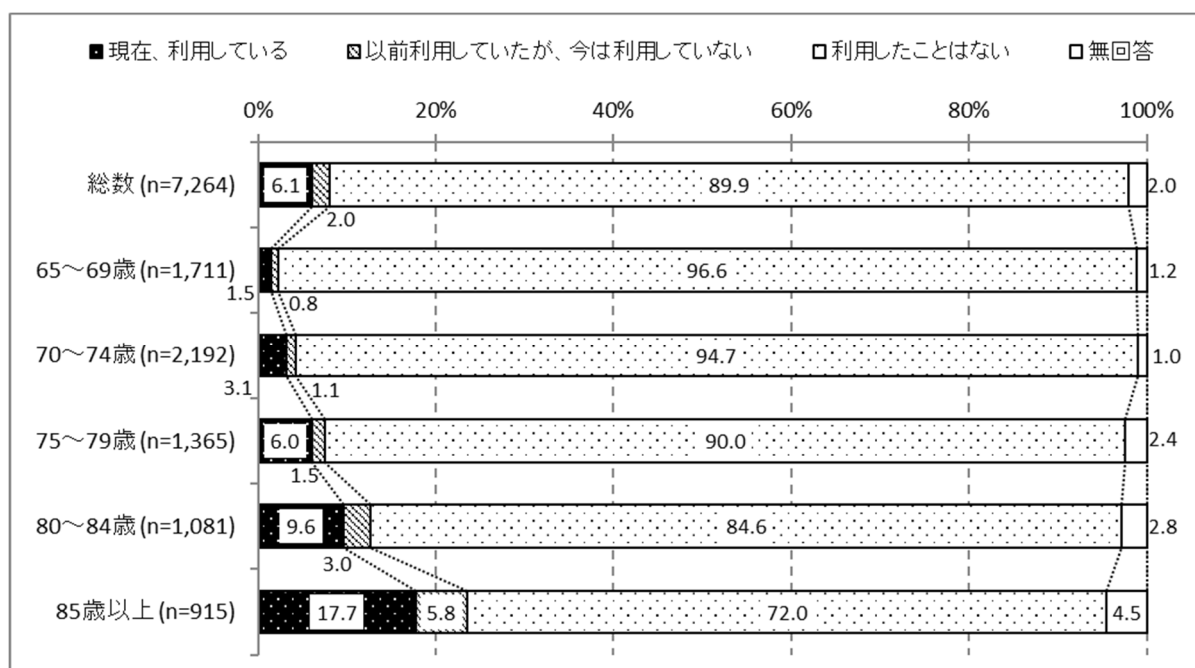


図 12 補聴器の利用有無

		サンプル数	現在、利用している	以前利用していたが、今利用していない	利用したことはない	無回答
総数	人数	7,264	442	144	6,531	147
	%	100.0	6.1	2.0	89.9	2.0
65~69歳	人数	1,711	25	14	1,652	20
	%	100.0	1.5	0.8	96.6	1.2
70~74歳	人数	2,192	69	24	2,076	23
	%	100.0	3.1	1.1	94.7	1.0
75~79歳	人数	1,365	82	21	1,229	33
	%	100.0	6.0	1.5	90.0	2.4
80~84歳	人数	1,081	104	32	915	30
	%	100.0	9.6	3.0	84.6	2.8
85歳以上	人数	915	162	53	659	41
	%	100.0	17.7	5.8	72.0	4.5

表 12 補聴器の利用有無

【問5】

2-1) 補聴器を「1. 現在、利用している」と回答した方にお尋ねします。補聴器を利用している中で、あてはまるものにすべてに○をつけてください。

補聴器を現在、利用していると回答した人（442人）に、補聴器を利用している中で、あてはまるものを挙げてもらったところ、「よく聞こえる時とあまり聞こえない時がある」（56.8%）などが挙げられた。

年齢別にみると、「よく聞こえ、満足している」は「65～69歳」で、「よく聞こえる時とあまり聞こえない時がある」は「75～79歳」で、「最近、あまり聞こえなくなってきた」は「80～84歳」で、「補聴器を買い替えたことがある」は「70～74歳」でやや高い。

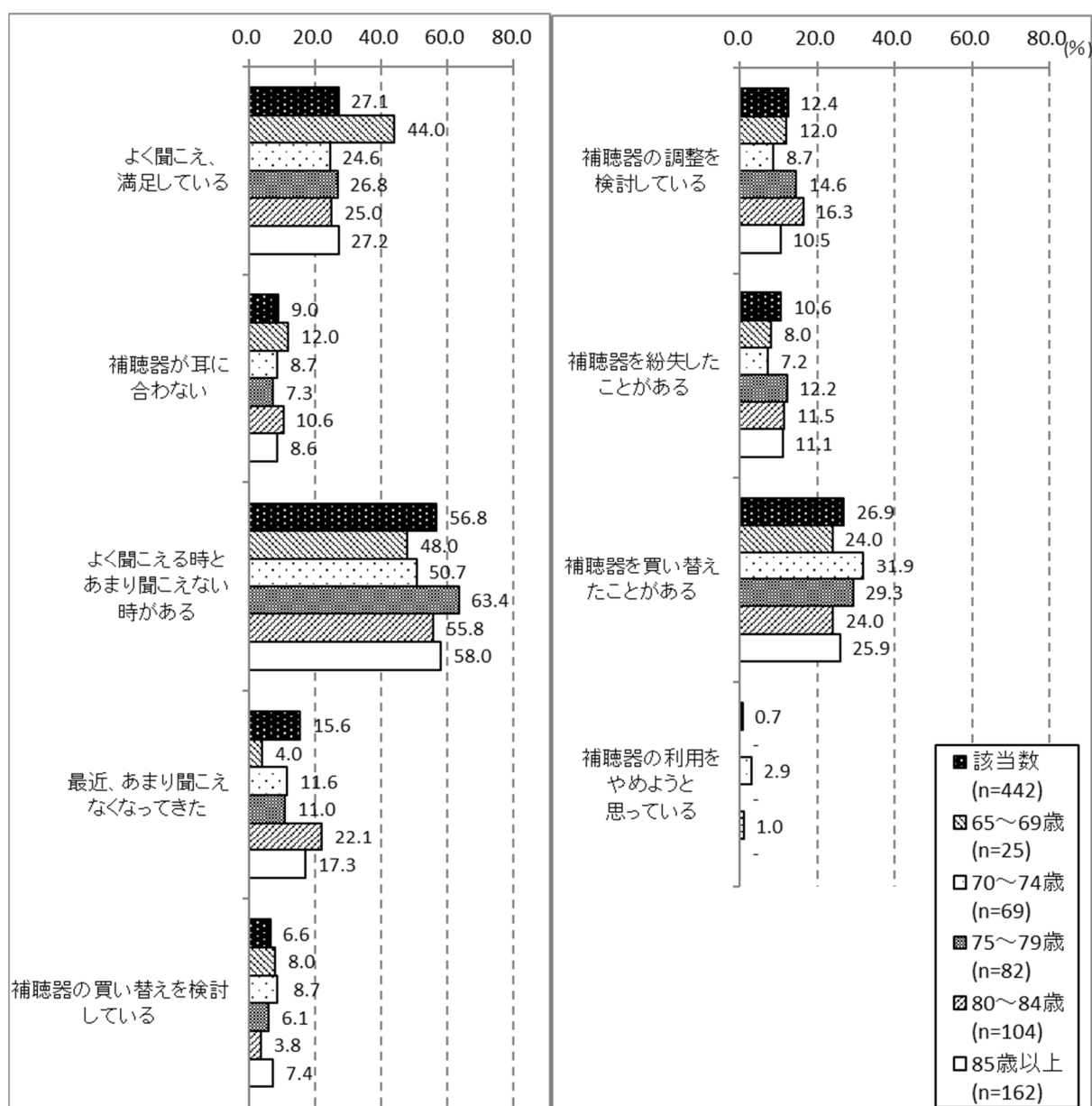


図13 補聴器を利用している中であてはまるもの

		サンプル数	よく聞こえ、満足している	補聴器が耳に合わない	よく聞こえる時とよく聞こえない時がある	最近、あまり聞こえなくなってきた	補聴器の買い替えを検討している
該当数	人数	442	120	40	251	69	29
	%	100.0	27.1	9.0	56.8	15.6	6.6
65～69歳	人数	25	11	3	12	1	2
	%	100.0	44.0	12.0	48.0	4.0	8.0
70～74歳	人数	69	17	6	35	8	6
	%	100.0	24.6	8.7	50.7	11.6	8.7
75～79歳	人数	82	22	6	52	9	5
	%	100.0	26.8	7.3	63.4	11.0	6.1
80～84歳	人数	104	26	11	58	23	4
	%	100.0	25.0	10.6	55.8	22.1	3.8
85歳以上	人数	162	44	14	94	28	12
	%	100.0	27.2	8.6	58.0	17.3	7.4
		補聴器の調整を検討している	補聴器を紛失したことがある	補聴器を買い替えたことがある	補聴器の利用をやめようと思ってる	無回答	回答計
該当数	人数	55	47	119	3	16	749
	%	12.4	10.6	26.9	0.7	3.6	169.5
65～69歳	人数	3	2	6	-	-	40
	%	12.0	8.0	24.0	-	-	160.0
70～74歳	人数	6	5	22	2	4	111
	%	8.7	7.2	31.9	2.9	5.8	160.9
75～79歳	人数	12	10	24	-	3	143
	%	14.6	12.2	29.3	-	3.7	174.4
80～84歳	人数	17	12	25	1	5	182
	%	16.3	11.5	24.0	1.0	4.8	175.0
85歳以上	人数	17	18	42	-	4	273
	%	10.5	11.1	25.9	-	2.5	168.5

表 13 補聴器を利用している中であてはまるもの

【問5】

2-2) 補聴器を「2. 以前利用していたが、今は利用していない」「3. 利用したことはない」と回答した方にお尋ねします。補聴器を利用しない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

補聴器を「以前利用していたが、今は利用していない」「利用したことはない」と回答した人(6,675人)に、補聴器を利用している中で、補聴器を利用しない理由を挙げてもらったところ、「十分聞こえているため」(32.7%)、「補聴器を利用するほどには、聞こえが悪くないため」(23.6%)などが挙げられた。

年齢別にみると、「補聴器を利用するほどには、聞こえが悪くないため」は「80-84歳」で高い。

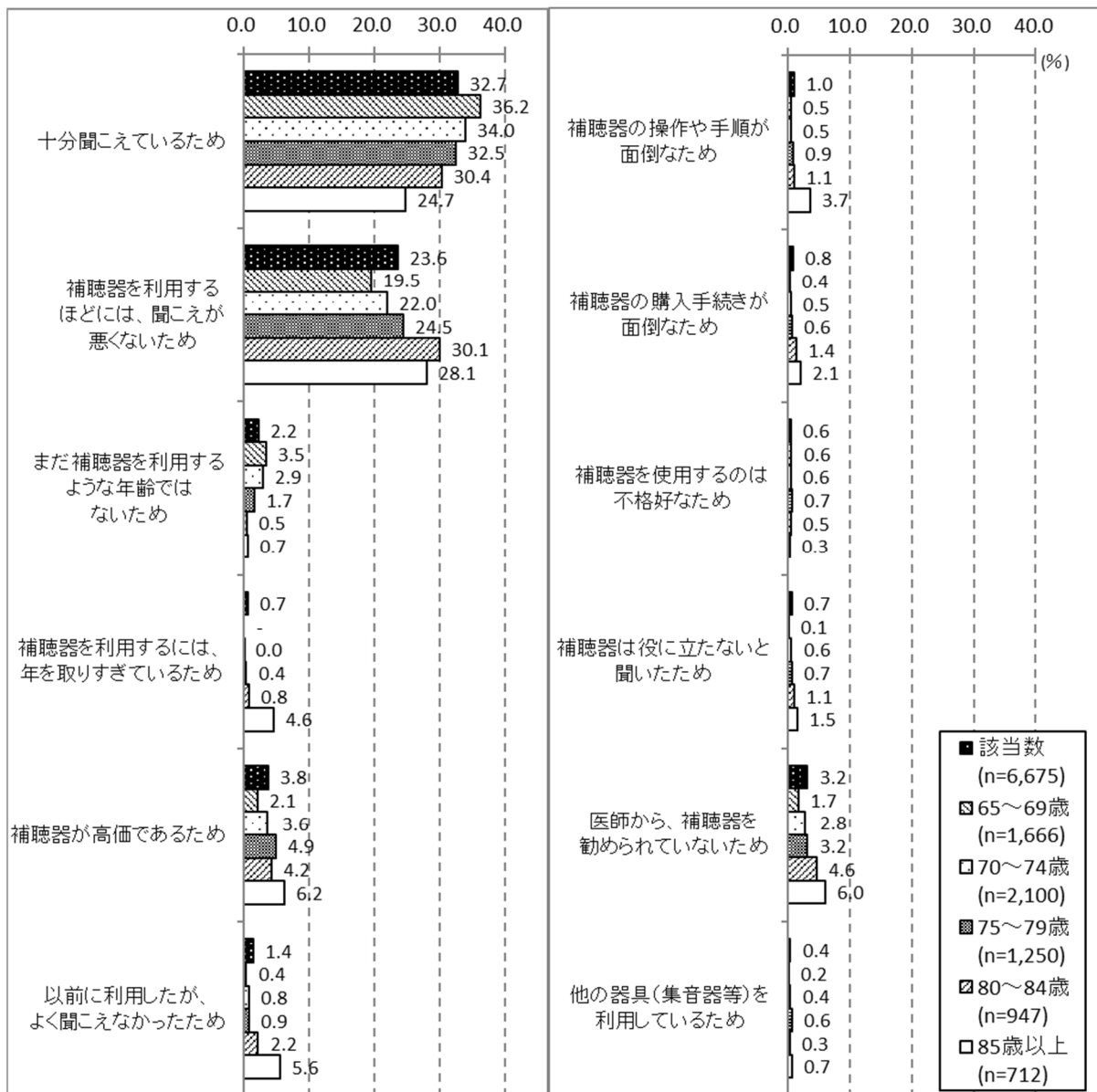


図14 補聴器を利用しない理由

		サンプル数	十分聞こえているため	利用するほどには聞こえが悪い	まだ利用するような年齢ではない	利用するには、年を取りすぎている	補聴器が高価であるため	以前利用したがよく聞こえなかった	補聴器の操作や手順が面倒なため
該当数	人数	6,675	2,186	1,577	150	47	255	95	66
	%	100.0	32.7	23.6	2.2	0.7	3.8	1.4	1.0
65～69歳	人数	1,666	603	325	58	-	35	7	8
	%	100.0	36.2	19.5	3.5	-	2.1	0.4	0.5
70～74歳	人数	2,100	713	461	61	1	75	16	11
	%	100.0	34.0	22.0	2.9	0.0	3.6	0.8	0.5
75～79歳	人数	1,250	406	306	21	5	61	11	11
	%	100.0	32.5	24.5	1.7	0.4	4.9	0.9	0.9
80～84歳	人数	947	288	285	5	8	40	21	10
	%	100.0	30.4	30.1	0.5	0.8	4.2	2.2	1.1
85歳以上	人数	712	176	200	5	33	44	40	26
	%	100.0	24.7	28.1	0.7	4.6	6.2	5.6	3.7
		補聴器の購入手続きが面倒なため	補聴器を使用するのは不格好なため	補聴器は役に立たないと聞いたため	医師から補聴器を勧められていない	他の器具（集音器等）を利用してる	無回答	回答計	
該当数	人数	53	38	45	214	28	2,960	7,714	
	%	0.8	0.6	0.7	3.2	0.4	44.3	115.6	
65～69歳	人数	6	10	2	29	3	797	1,883	
	%	0.4	0.6	0.1	1.7	0.2	47.8	113.0	
70～74歳	人数	11	12	13	58	9	962	2,403	
	%	0.5	0.6	0.6	2.8	0.4	45.8	114.4	
75～79歳	人数	8	9	9	40	8	559	1,454	
	%	0.6	0.7	0.7	3.2	0.6	44.7	116.3	
80～84歳	人数	13	5	10	44	3	381	1,113	
	%	1.4	0.5	1.1	4.6	0.3	40.2	117.5	
85歳以上	人数	15	2	11	43	5	261	861	
	%	2.1	0.3	1.5	6.0	0.7	36.7	120.9	

表 14 補聴器を利用しない理由